

子育て支援に関するアンケート調査
報 告 書

平成26年(2014)3月

出 雲 市

— 目 次 —

I 調査の概要

- 1. 調査の目的 - 2 -
- 2. 調査設計 - 2 -
- 3. 報告書の見方 - 2 -

II 調査結果

- 1. 子どもと家族の状況 - 3 -
- 2. 保護者の就労状況 - 6 -
- 3. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況 - 15 -
- 4. 土曜・休日・長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望 - 25 -
- 5. 地域の子育て支援事業の利用状況 - 28 -
- 6. 病気の際の対応（平日の教育・保育を利用する方のみ） - 32 -
- 7. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用 - 34 -
- 8. 小学校就学後の放課後の過ごし方（宛名の児童が4歳以上である方） - 37 -
- 9. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度等 - 44 -
- 10. 子どもの発達 - 54 -
- 11. 子育てに関する満足度と重要度 - 58 -
- 12. 自由意見 - 63 -

I 調査の概要

1. 調査の目的

出雲市子ども・子育て支援事業計画（仮称）を策定するにあたり、子育て家庭の現状とニーズを把握するため、教育・保育・子育て支援事業に関する「現在の利用状況」及び「今後の利用希望」等について、国の基本指針等に基づき、アンケート調査を実施した。

2. 調査設計

- (1) 調査地域 出雲市全域
- (2) 調査対象 市内に住む、就学前児童がいる世帯の中から無作為抽出
- (3) 標本数 就学前児童 3,000世帯
- (4) 回収数 就学前児童 1,292世帯（回収率 43.1%）
- (5) 調査方法 郵送配布－郵送回収
- (6) 調査時期 平成25年(2013)12月 3日 対象世帯あて発送
平成26年(2014)1月10日 回答期限
※平成26年(2014)1月27日までの回収結果を集計

3. 報告書の見方

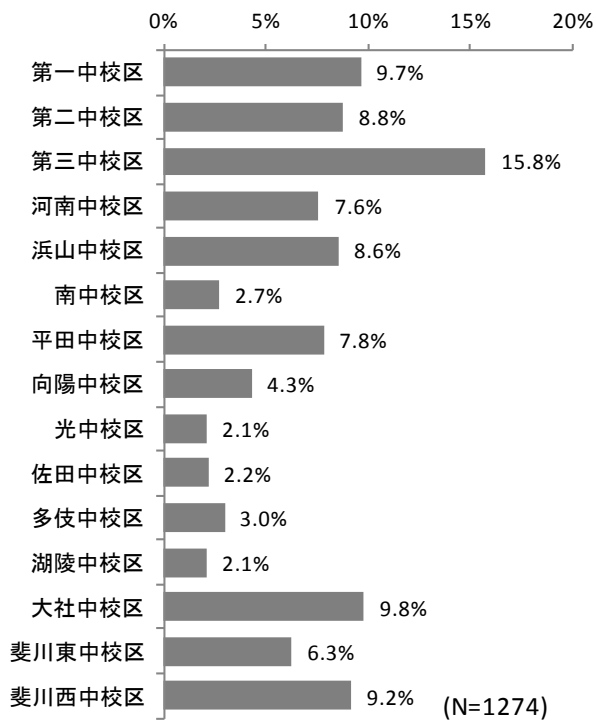
- (1) 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比（%）で示してある。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- (2) 複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- (3) 報告書中の図表では、コンピューター入力の都合上、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。

Ⅱ 調査結果

1. 子どもと家族の状況

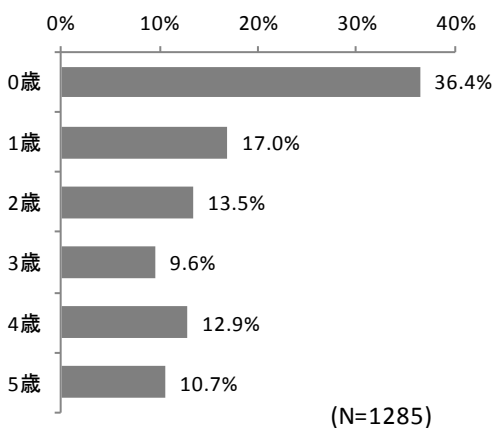
あて名のお子さんご家族の状況についておたずねします。

● 住まいの地区（中学校区）



	人数(人)	人数比率	回収率
第一中校区	123	9.7%	45.6%
第二中校区	112	8.8%	36.1%
第三中校区	201	15.8%	38.7%
河南中校区	97	7.6%	42.4%
浜山中校区	109	8.6%	40.4%
南中校区	35	2.7%	50.0%
平田中校区	100	7.8%	43.3%
向陽中校区	55	4.3%	42.3%
光中校区	27	2.1%	42.2%
佐田中校区	28	2.2%	45.2%
多伎中校区	38	3.0%	59.4%
湖陵中校区	27	2.1%	38.6%
大社中校区	125	9.8%	50.0%
斐川東中校区	80	6.3%	47.1%
斐川西中校区	117	9.2%	40.2%
合計	1274	100.0%	

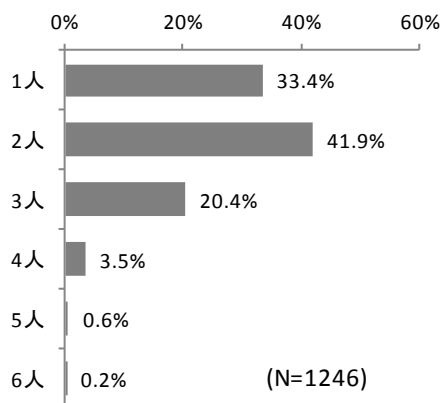
● 対象児童の年齢



	人数(人)	人数比率	回収率
0歳	468	36.4%	45.1%
1歳	218	17.0%	40.5%
2歳	173	13.5%	42.7%
3歳	123	9.6%	35.7%
4歳	166	12.9%	47.4%
5歳	137	10.7%	42.2%
合計	1285	100.0%	

● きょうだいの状況

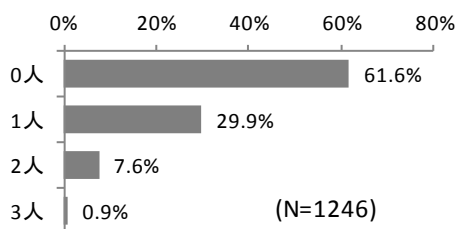
<子どもの人数>



	人数(人)	比率
1人	416	33.4%
2人	522	41.9%
3人	254	20.4%
4人	43	3.5%
5人	8	0.6%
6人	3	0.2%
合計	1246	100.0%

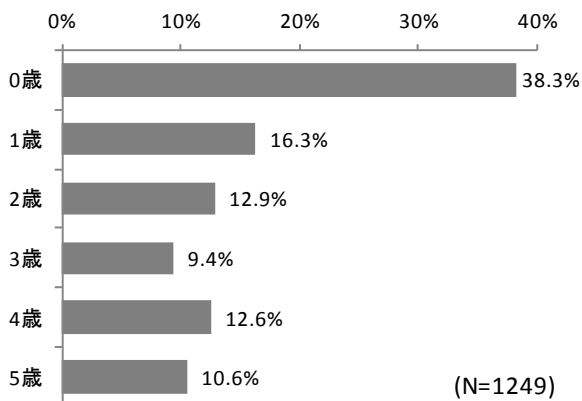
➤ 一人っ子の世帯が 33.4%を占め、3人以上の子のいる世帯は 24.7%を占める。

<小学生のきょうだいの人数>



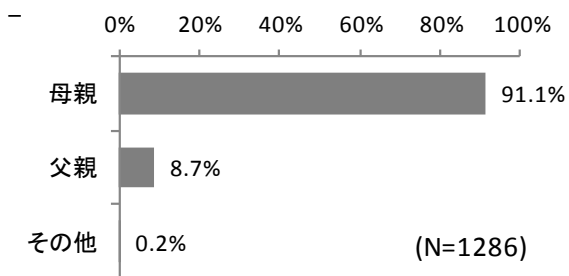
	人数(人)	比率
0人	768	61.6%
1人	372	29.9%
2人	95	7.6%
3人	11	0.9%
合計	1246	100.0%

<末子の年齢>



	人数(人)	比率	
0歳	H24年4月～H26年1月	478	38.3%
1歳	H23年4月～H24年3月	204	16.3%
2歳	H22年4月～H23年3月	161	12.9%
3歳	H21年4月～H22年3月	117	9.4%
4歳	H20年4月～H21年3月	157	12.6%
5歳	H19年4月～H20年3月	132	10.6%
合計		1249	100.0%

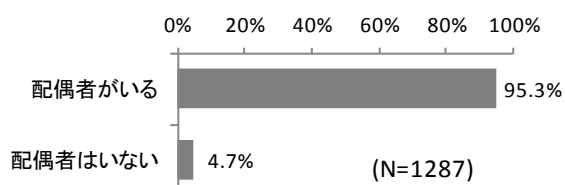
● 調査票回答者（対象児童との関係）



	人数(人)	比率
母親	1172	91.1%
父親	112	8.7%
その他	2	0.2%
合計	1286	100.0%

➤ 母親が回答しているケースが91.1%を占める。

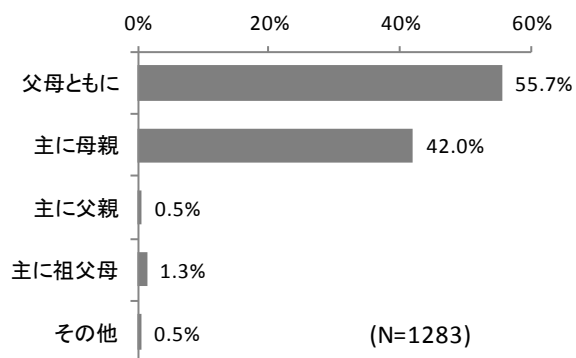
● 調査票回答者の配偶関係



	人数(人)	比率
配偶者がいる	1226	95.3%
配偶者がいない	61	4.7%
合計	1287	100.0%

➤ 配偶者のいない世帯は約5%である。

● 子育て（教育を含む）を主に行っている方



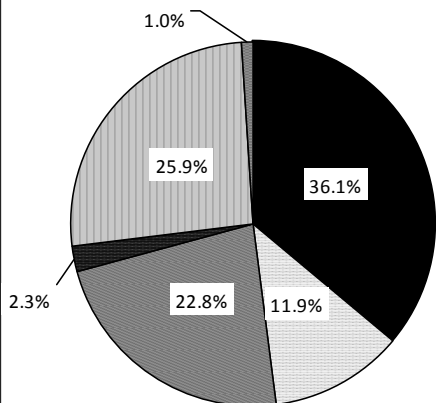
	人数(人)	比率
父母ともに	714	55.7%
主に母親	539	42.0%
主に父親	7	0.5%
主に祖父母	17	1.3%
その他	6	0.5%
合計	1283	100.0%

2. 保護者の就労状況

あて名のお子さんの保護者の働き方についておたずねします。

問7 あて名のお子さんの保護者の現在の働き方（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。

● 母親

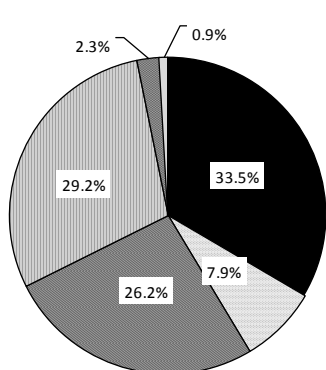


凡例

- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で働いており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で働いており、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で働いており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイトで働いており、産休・育休・介護休業中である
- 以前は働いていたが、現在は働いていない
- これまで働いたことがない

(N=1280)

平成20年実施



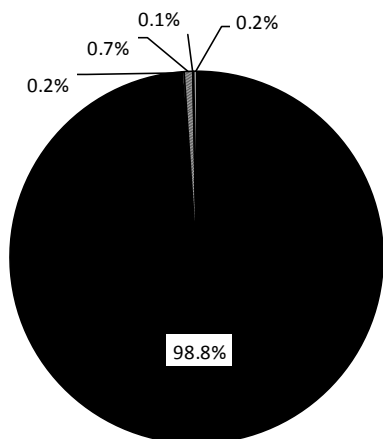
凡例

- 就労している(フルタイム)
- 就労している(フルタイムだが、産休・育休・介護休業中)
- 就労している(パートタイム、アルバイト等)
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまでに就労したことがない
- その他

(N=1007)

- ▶ 就労していない母親は26.9%、フルタイムの就労は48.0%、パートタイムの就労は25.1%。その内、産休・育休・介護休業中は14.2%。
- ▶ 5年前と比べると、母親はフルタイムの就労が41.4%→48.0%と6.6ポイント増加し、「以前は働いていたが、現在は働いていない」が29.2%→25.9%と3.3ポイント減少「就労したことがない」が2.3%→1.0%と1.3ポイント減少。

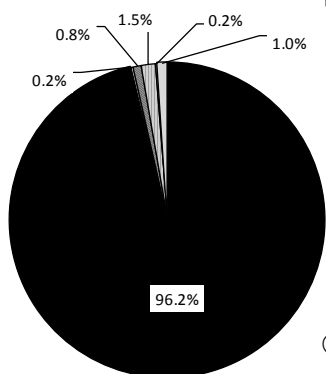
● 父親



- 凡例
- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で働いており、産休・育休・介護休業中ではない
 - フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で働いており、産休・育休・介護休業中である
 - パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で働いており、産休・育休・介護休業中ではない
 - パート・アルバイトで働いており、産休・育休・介護休業中である
 - 以前は働いていたが、現在は働いていない

(N=1216)

平成 20 年実施



- 凡例
- 就労している(フルタイム)
 - 就労している(フルタイムだが、産休・育休・介護休業中)
 - 就労している(パートタイム、アルバイト等)
 - 以前は就労していたが、現在は就労していない
 - これまでに就労したことがない
 - その他

(N=959)

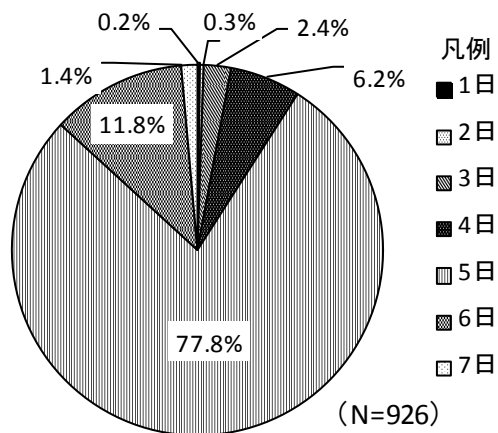
- 父親の 99.0%がフルタイム、産休・育休・介護休業中が 0.3%。
- 5年前と比べると、父親はフルタイムの就労が 96.4%→99.0%と 2.6ポイント増加。

問7の母親または父親で、「働いている（産休等含む）」と回答した方におたずねします。

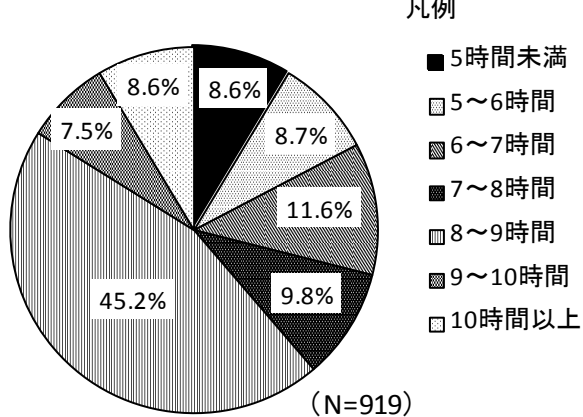
問7-1 週当たりの「働いている日数」、1日当たりの「働いている時間（残業時間を含む）」、「家を出る時刻」と「帰宅時刻」をお答えください。

● 母親

<1週間当たり>



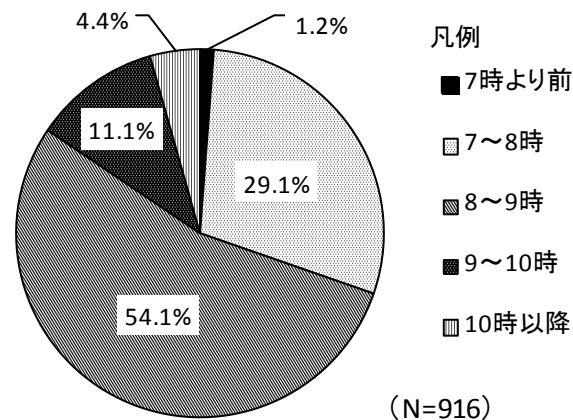
<1日当たり>



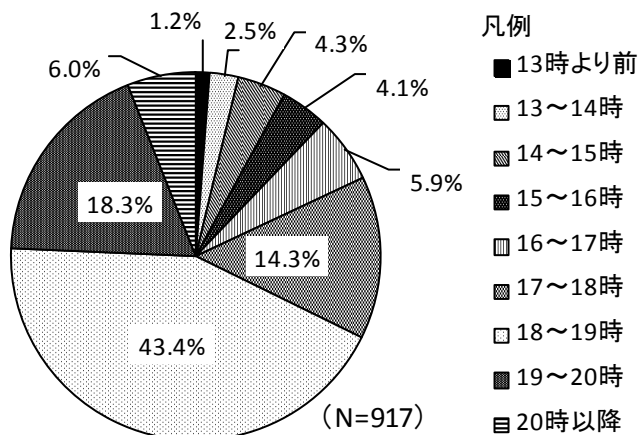
凡例

- 5時間未満
- ▨ 5～6時間
- ▩ 6～7時間
- 7～8時間
- ▨ 8～9時間
- ▩ 9～10時間
- 10時間以上

<家を出る時刻>



<帰宅時刻>



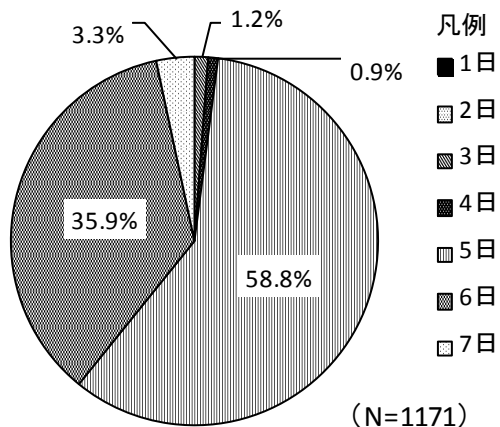
凡例

- 13時より前
- ▨ 13～14時
- ▩ 14～15時
- 15～16時
- ▨ 16～17時
- ▩ 17～18時
- 18～19時
- 19～20時
- ▨ 20時以降

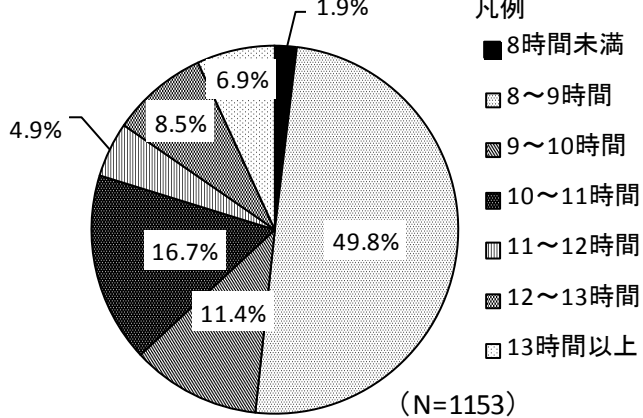
- 休業中も含む就労中の母親のうち、週5日以上勤務が91.0%、週4日勤務が6.2%、週3日までの勤務が2.9%。1日8時間以上労働が61.3%、6～8時間労働が21.4%、6時間未満労働が17.3%。
- 休業中も含む就労中の母親の83.2%が7～9時に家を出て、76.0%が17～20時に帰宅。

● 父親

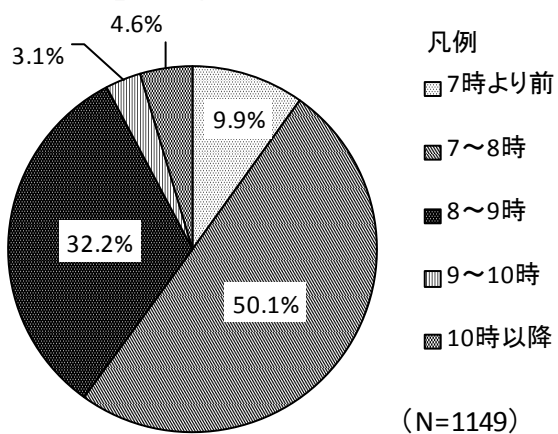
<1週間当たり>



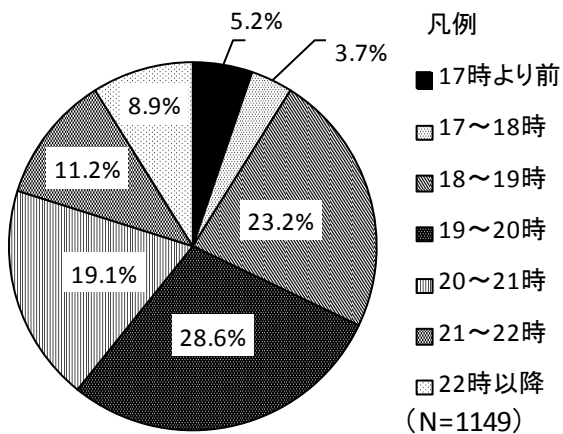
<1日当たり>



<家を出る時刻>



<帰宅時刻>

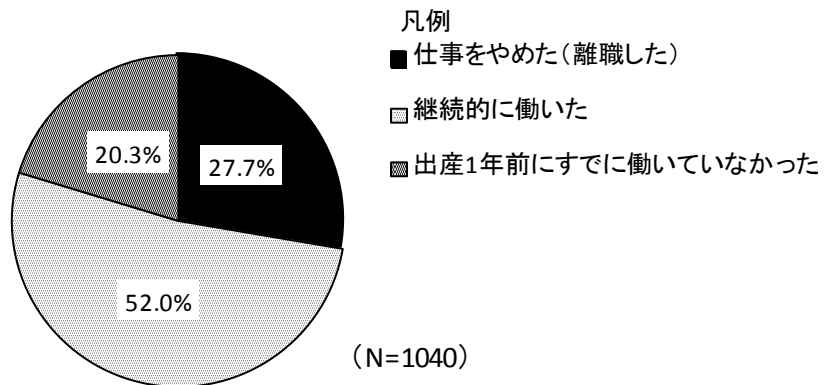


- ▶ 休業中も含む就労中の父親のうち、週5～6日勤務が94.7%、1日8時間以上労働が98.2%。
- ▶ 休業中も含む就労中の父親の82.3%が7～9時に家を出て、70.9%が18～21時に帰宅。

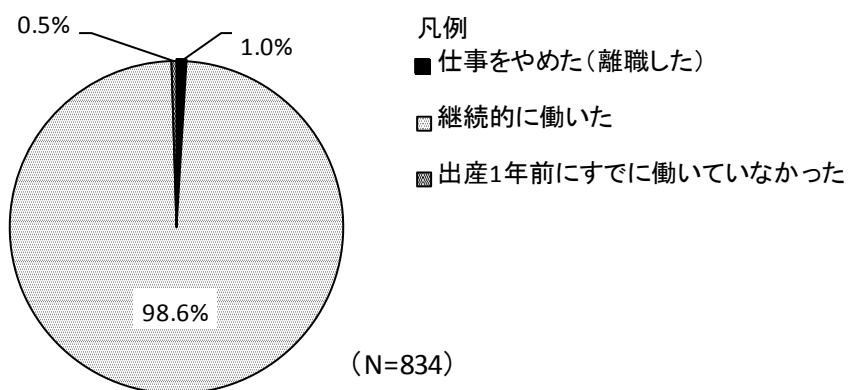
問7の母親または父親で、「働いている（産休等含む）」または「以前は働いていたが、現在は働いていない」と回答した方におたずねします。

問7-2 あて名のお子さんの出産前後（前後それぞれ1年以内）に仕事をやめましたか。

● 母親



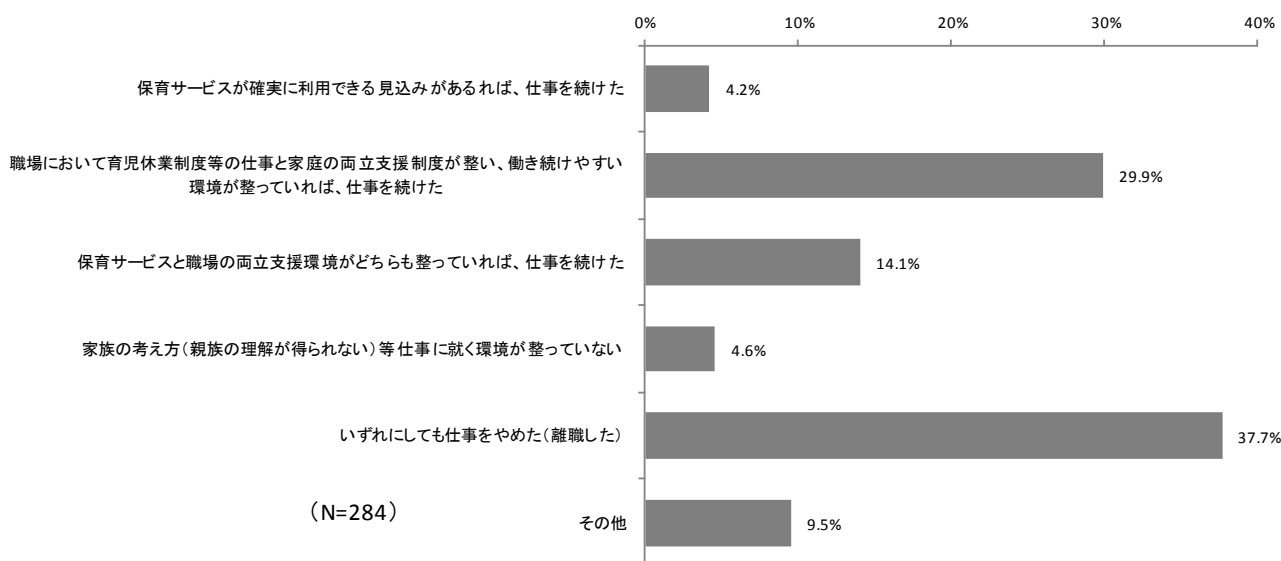
● 父親



➤ 子どもの出産前後に離職した母親は27.7%。

問7-2の母親または父親で、「仕事をやめた(離職した)」と回答した方におたずねします。

問7-3 仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、仕事を継続しましたか。

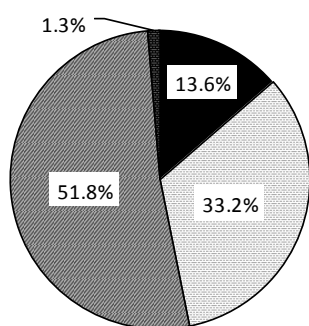


- ▶ 子どもの出産前後に離職したと答えた母親・父親のうち、「保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、仕事を続けた」は4.2%、「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、仕事を続けた」は29.9%、「いずれにしても仕事をやめた(離職した)」は37.7%。

問7の母親または父親で、「パート・アルバイト等で働いている」と回答した方におたずねします。

問8 フルタイムで働きたいと思いますか。

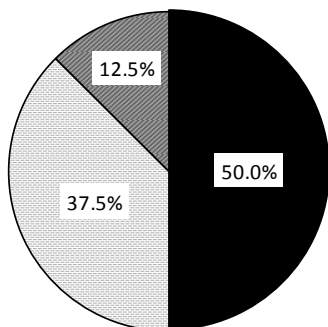
● 母親



- 凡例
- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で働きたいと思っており、実現できる見込みがある
 - フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で働きたいと思っており、実現できる見込みはない
 - ▒ 今後もパート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で働くことを希望している
 - パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて、育児・家事に専念したい

(N=301)

● 父親



- 凡例
- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で働きたいと思っており、実現できる見込みがある
 - フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で働きたいと思っており、実現できる見込みはない
 - ▒ 今後もパート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で働くことを希望している
 - パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて、育児・家事に専念したい

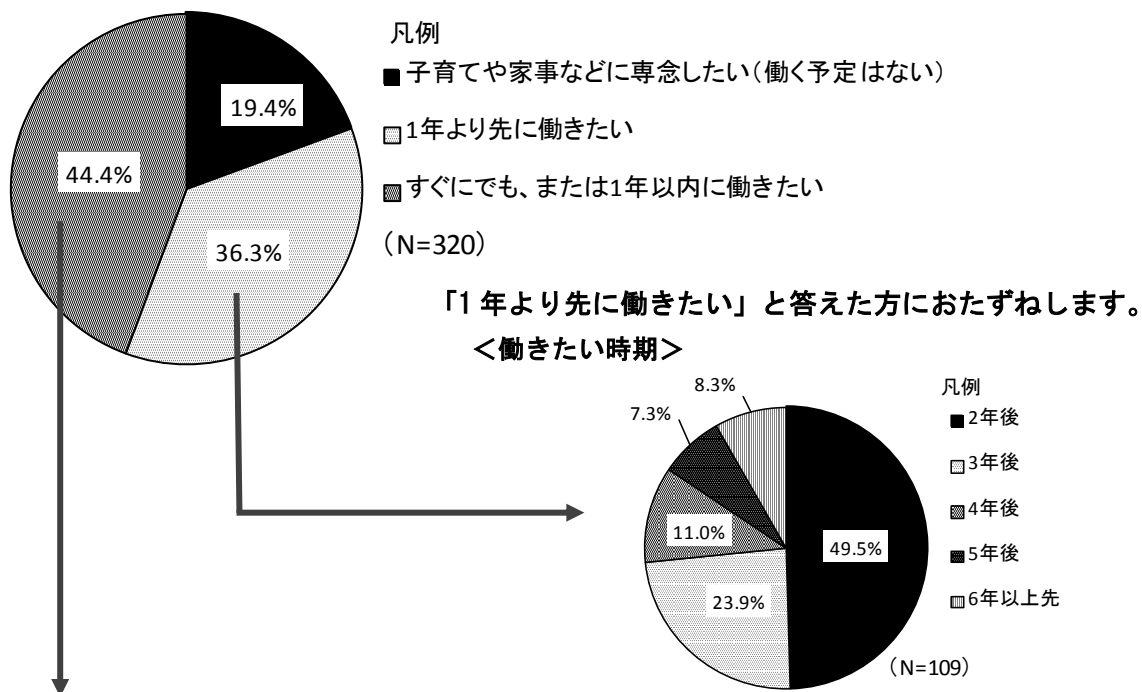
(N=8)

▶ パート・アルバイト等からフルタイムへの転換希望は母親で46.8%、父親で87.5%、母親の51.8%はパート等の就労を続けることを希望。

問7の母親または父親で、「以前は働いていたが、現在は働いていない」または「これまで働いたことがない」と回答した方におたずねします。

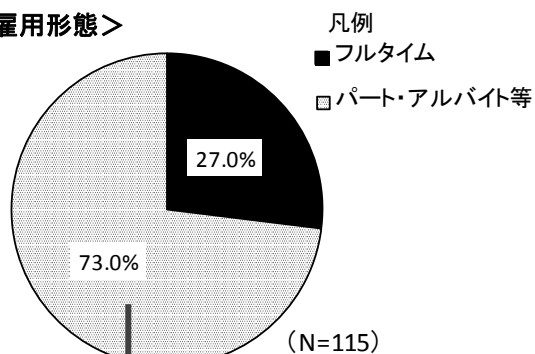
問9 今後、働きたいという希望はありますか。

● 母親

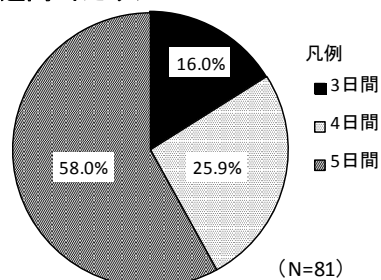


「すぐにでも、または1年以内に働きたい」と答えた方におたずねします。

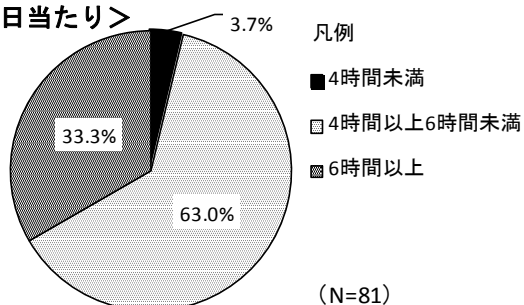
<雇用形態>



パート・アルバイト等希望の方のみ回答
<1週間当たり>

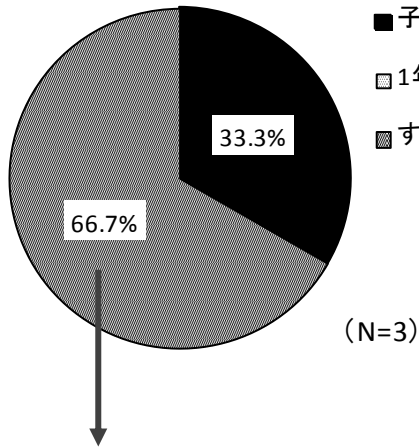


<1日当たり>



➤ 現在就労をしていない母親の19.4%は「子育てや家事に専念したい」と回答。「すぐにでも、または1年以内に働きたい」と回答した44.4%のうちの73.0%がパート・アルバイト等を希望。

● 父親

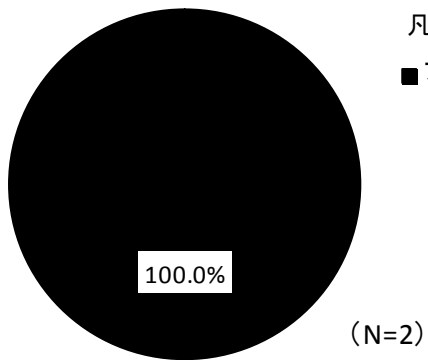


凡例

- 子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)
- ▨ 1年より先に働きたい
- すぐにでも、または1年以内に働きたい

「すぐにでも、または1年以内に働きたい」と答えた方におたずねします。

<雇用形態>



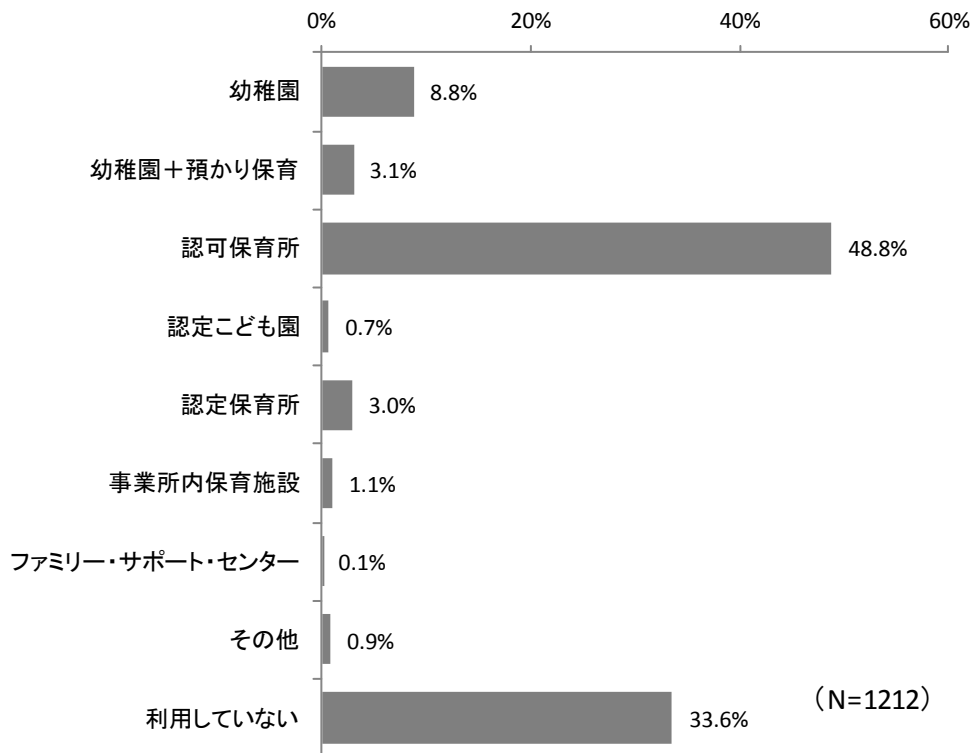
凡例

- フルタイム

3. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

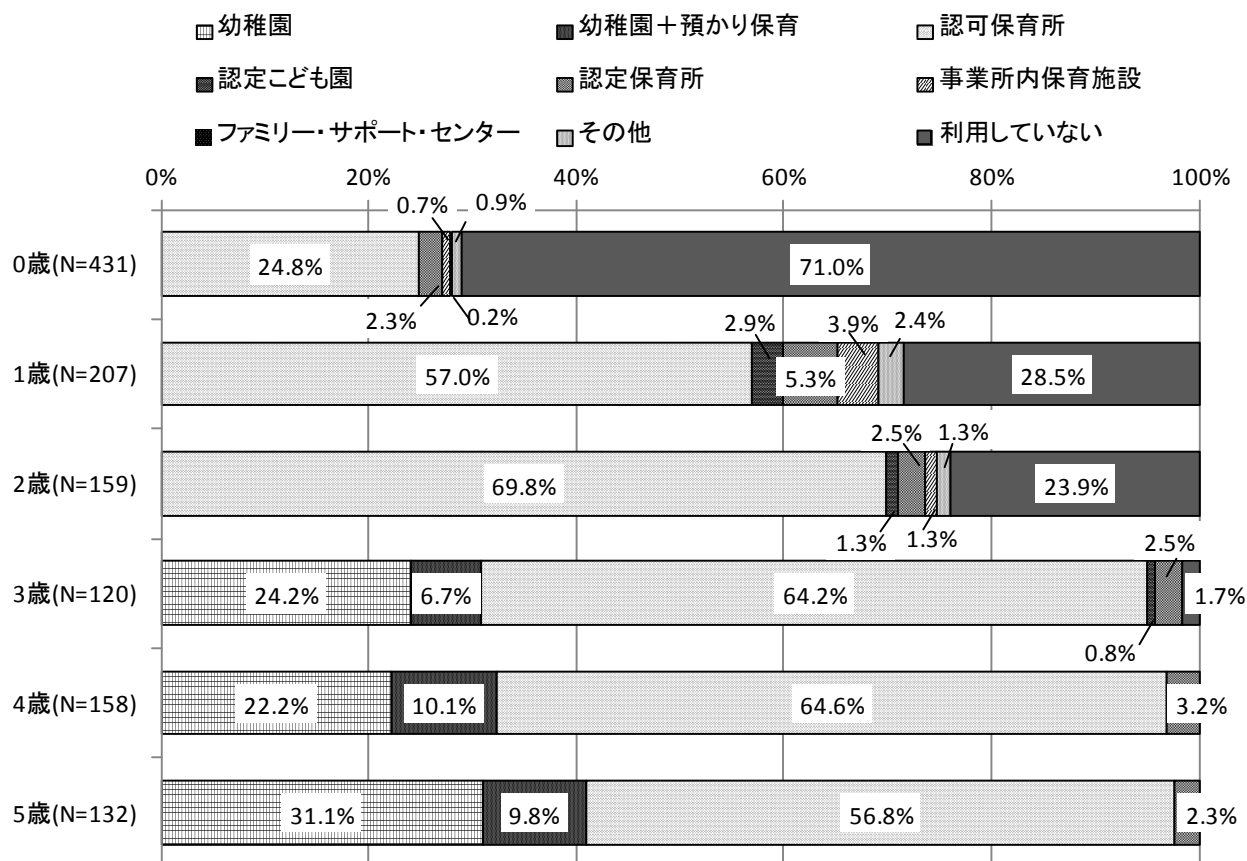
あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についておたずねします。

問 10 あて名のお子さんは現在、平日の「定期的な教育・保育事業」として、次の事業を利用していますか。

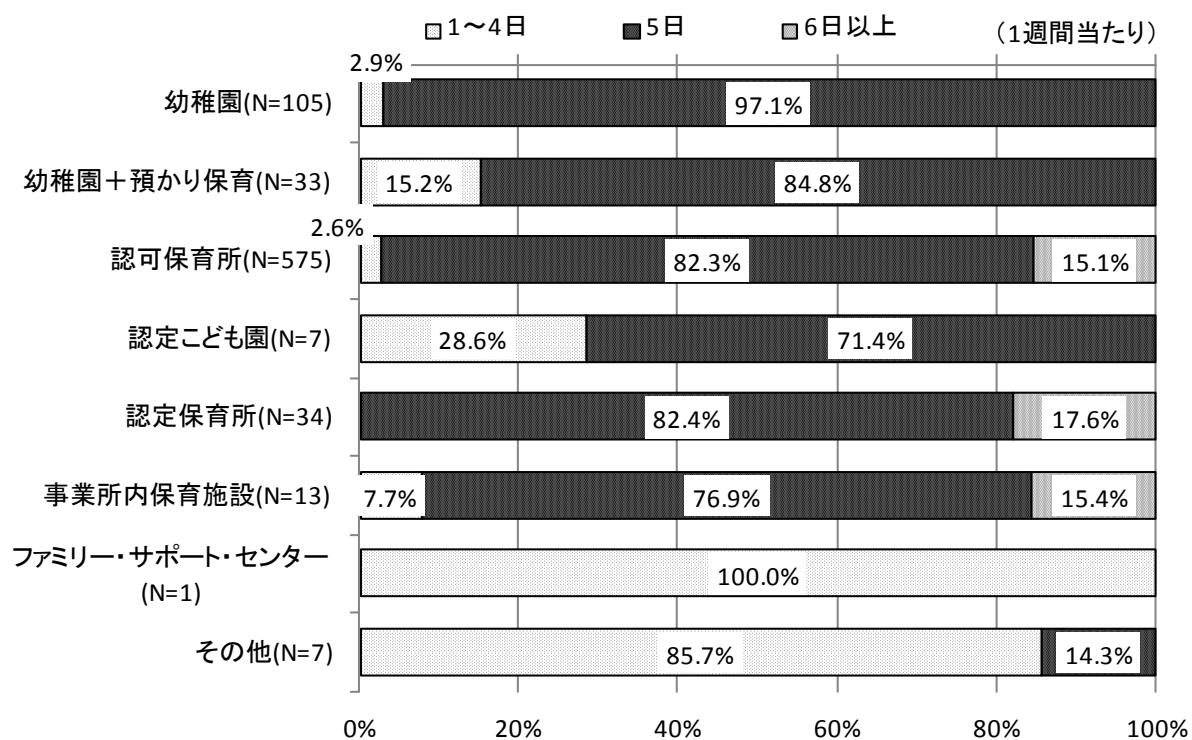


- 「平日の定期的な教育・保育事業」の利用は、幼稚園 8.8%、幼稚園+預かり保育 3.1%、認可保育所 48.8%、認定こども園 0.7%、一方、「利用していない」は 33.6%。

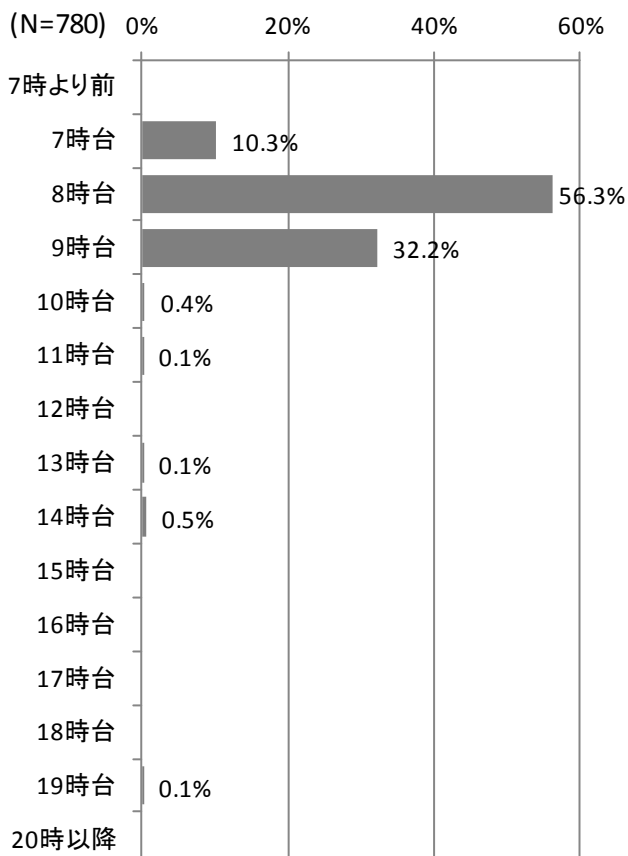
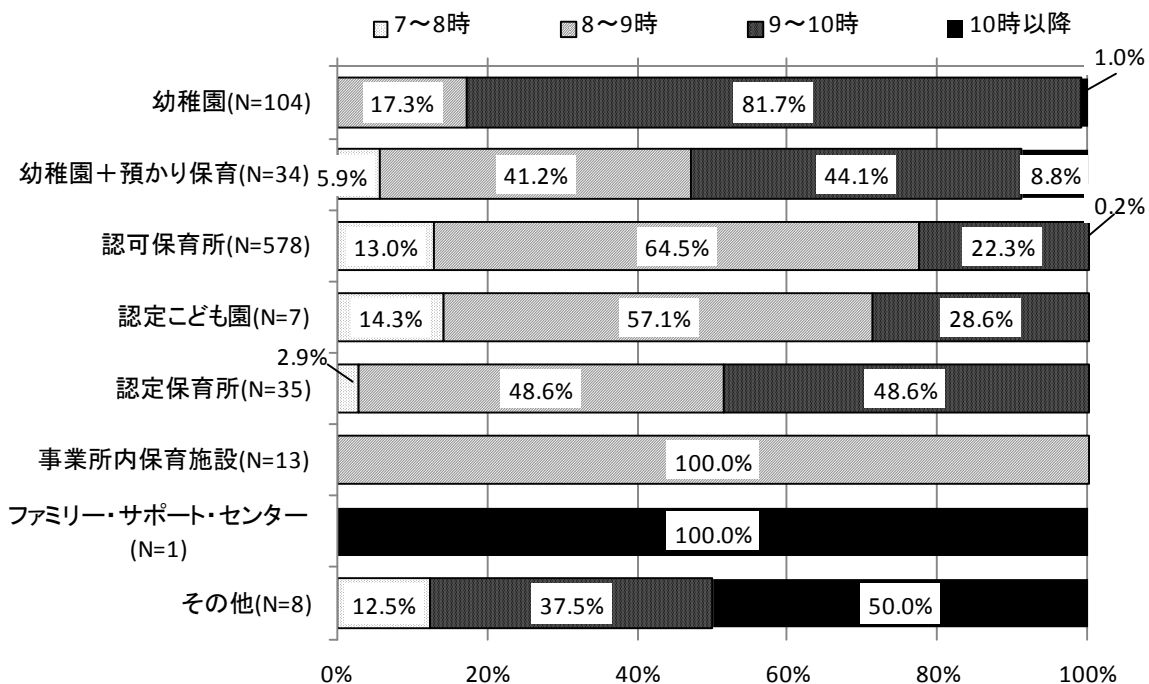
<年齢別の利用事業>



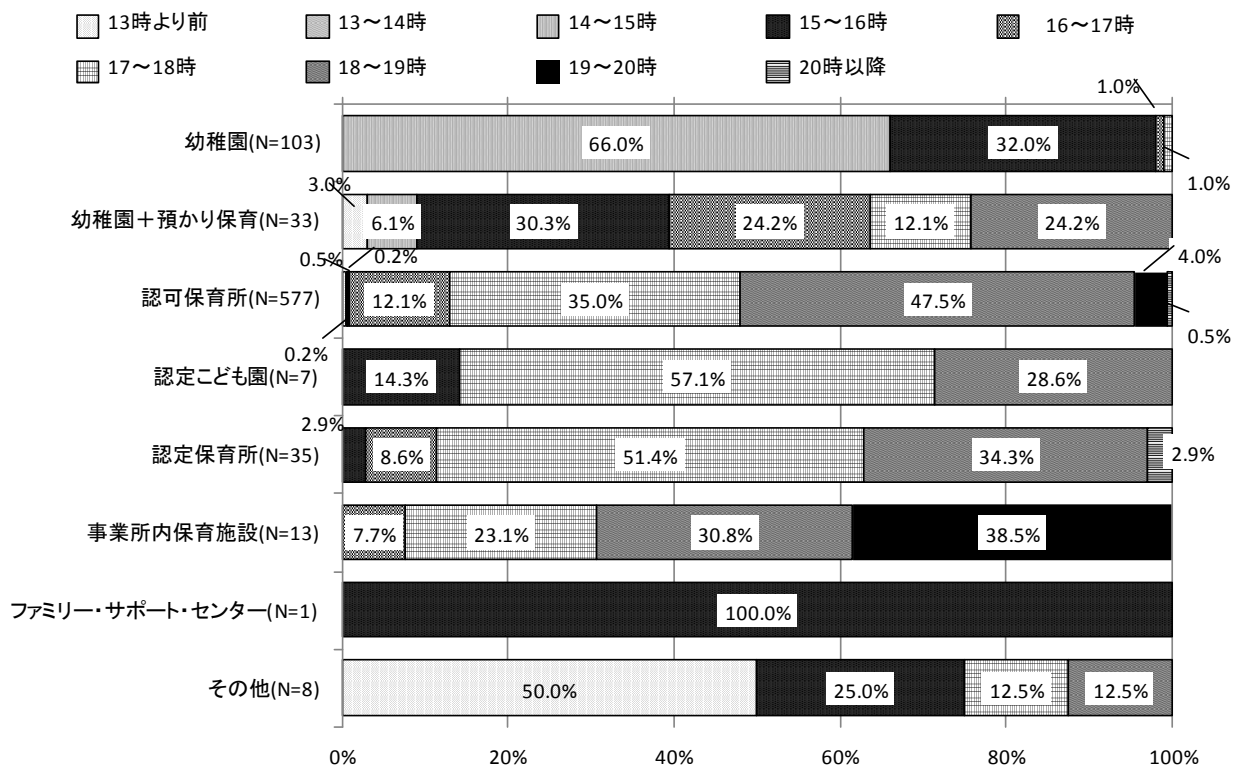
<現在の利用日数>



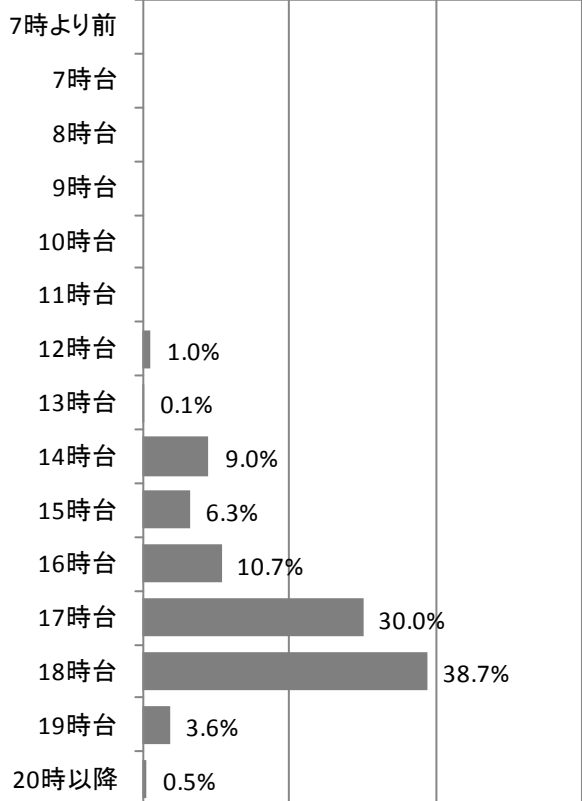
＜現在の利用開始時刻＞



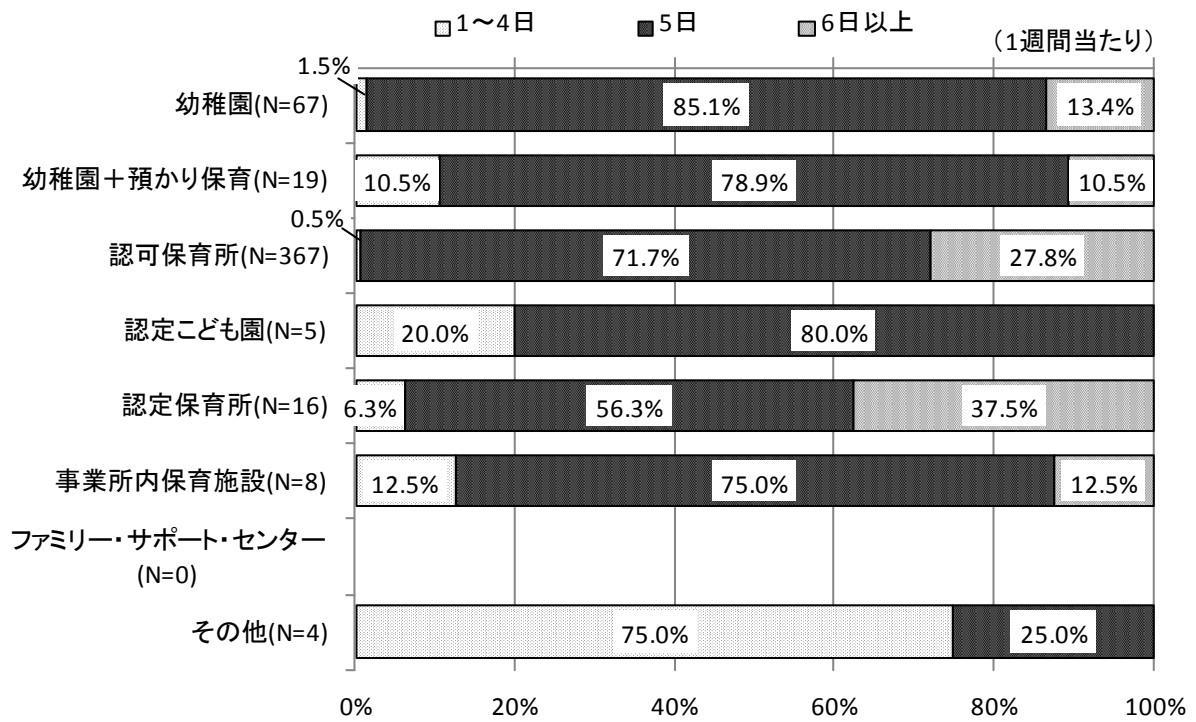
<現在の利用終了時刻>



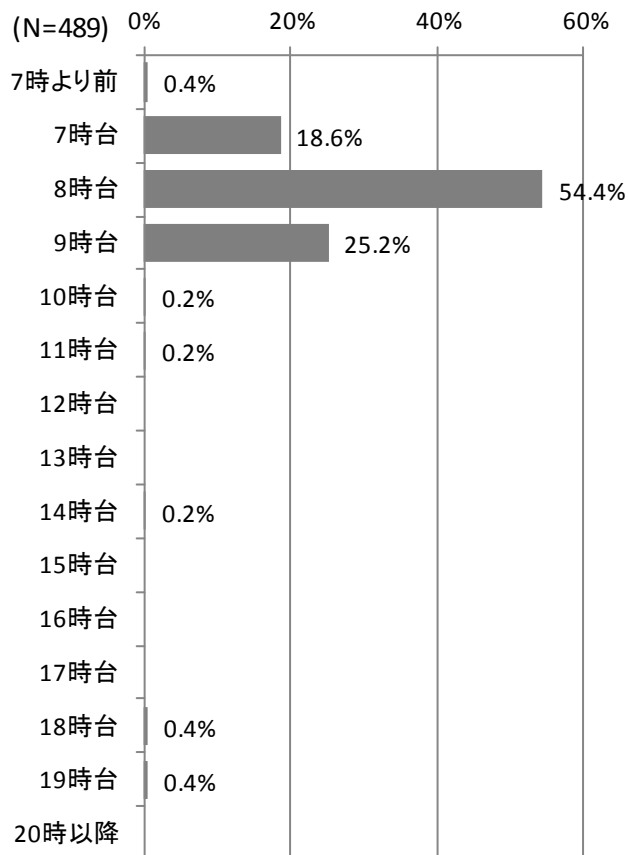
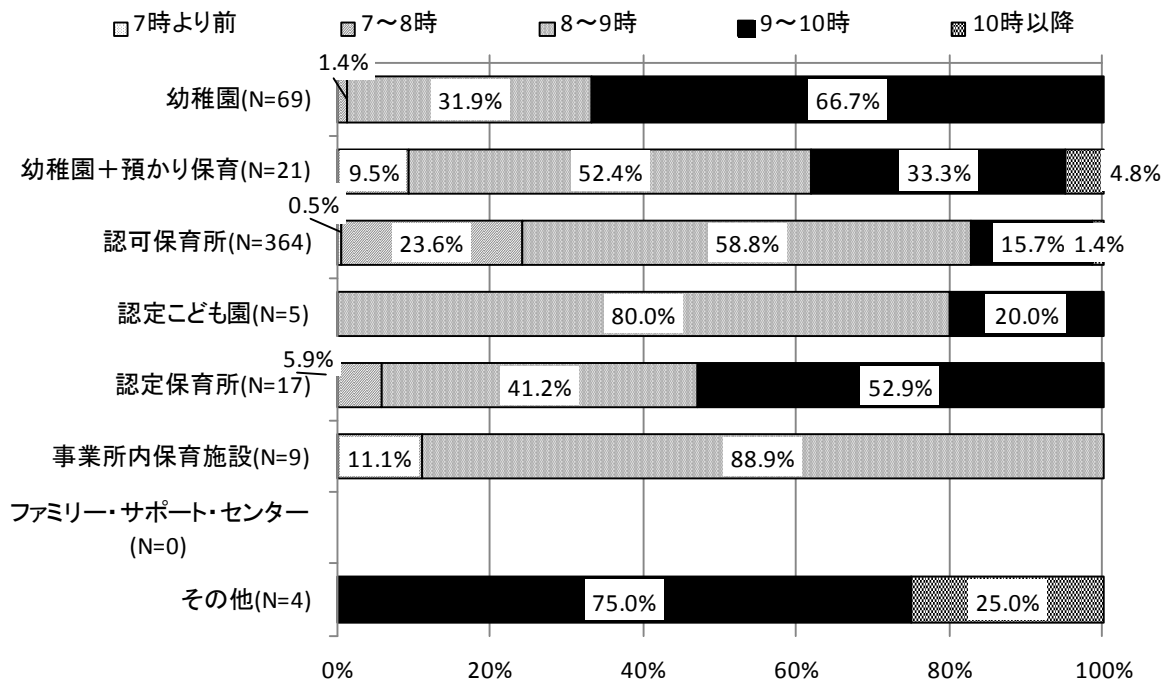
(N=777) 0% 20% 40% 60%



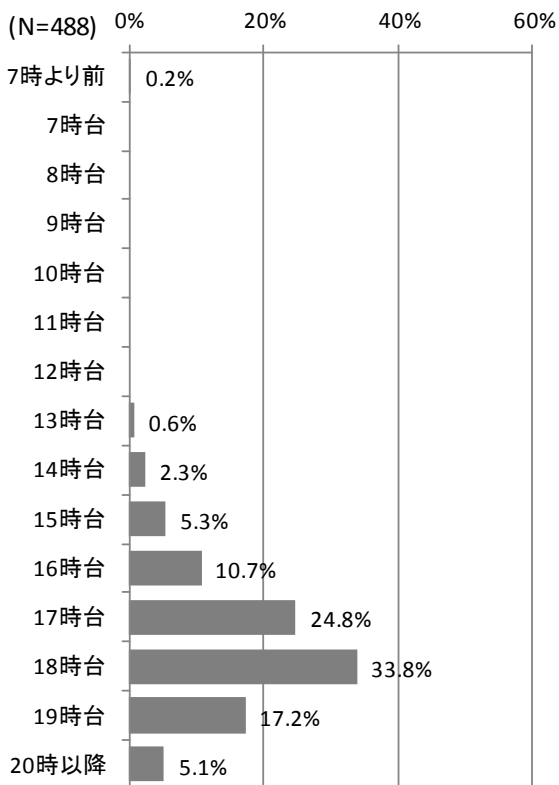
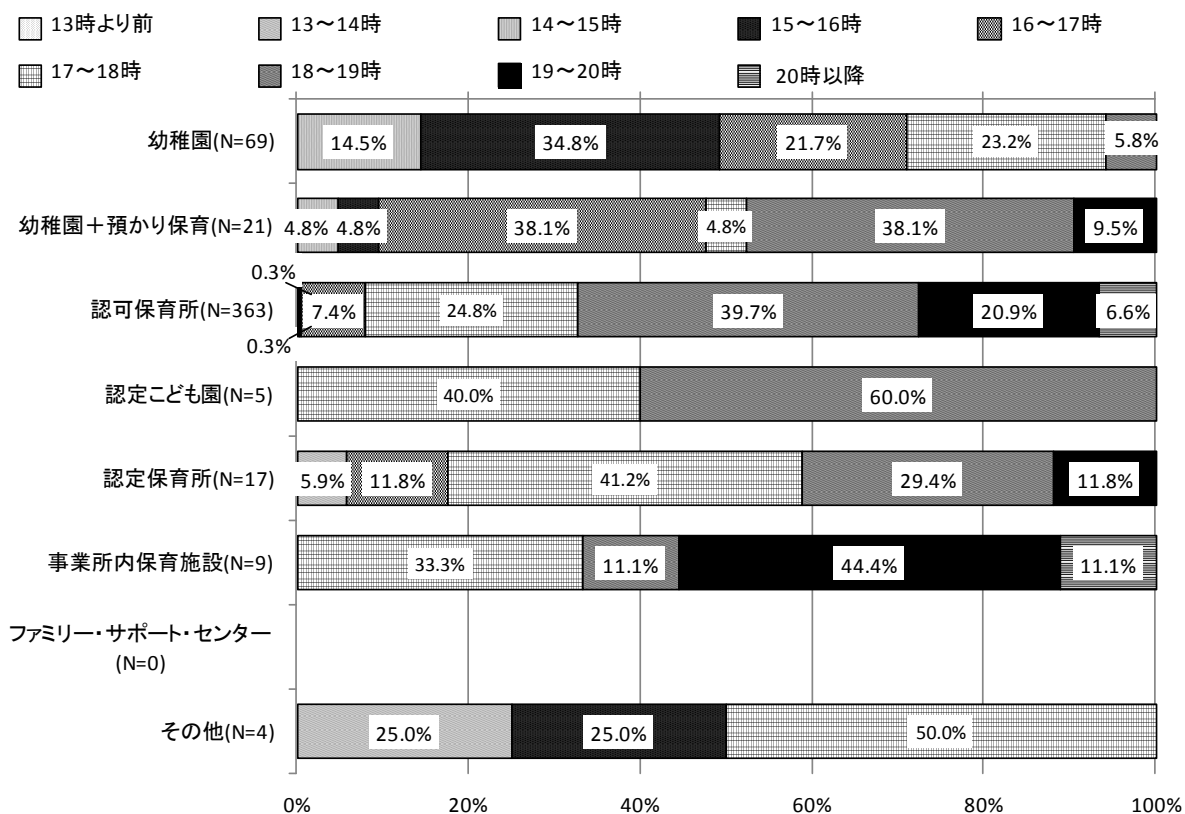
＜希望する利用日数＞



<希望する利用開始時刻>



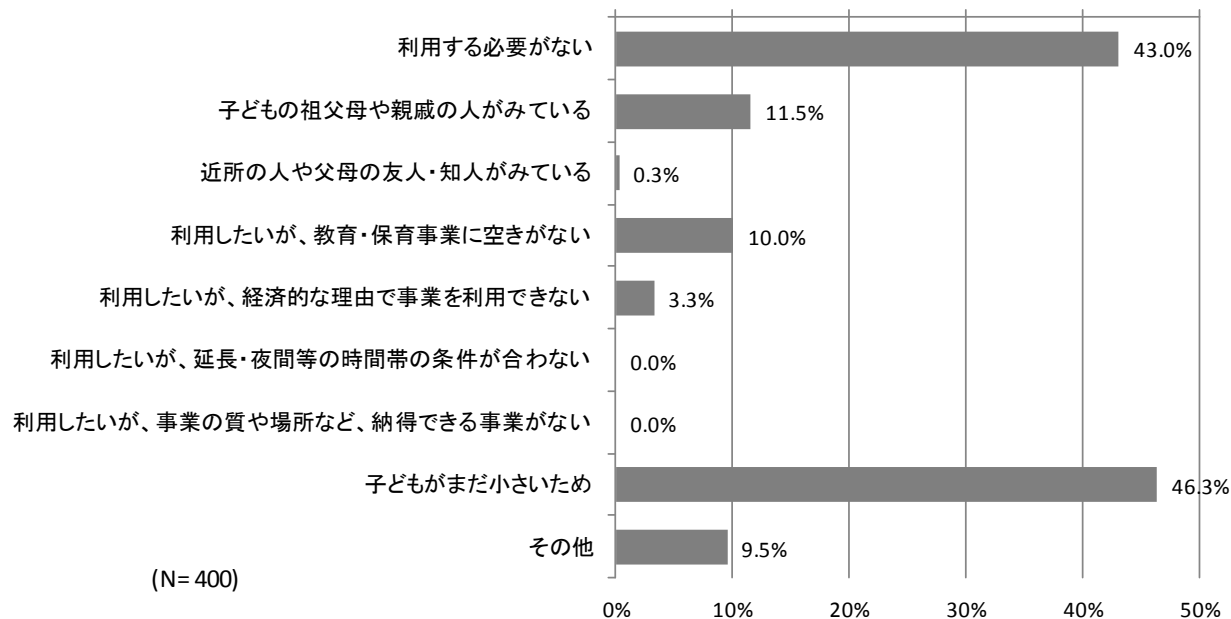
<希望する利用終了時刻>



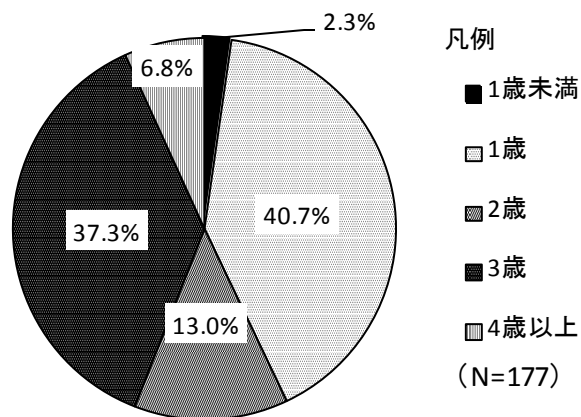
➤ 「幼稚園」を利用する 85.5%が 15 時以降の迎えを希望、「幼稚園+預かり保育」を利用する 9.5%と、「認可保育所」を利用する 27.5%が 19 時以降の迎えを希望。

問 10 で「利用していない」を選んだ方におたずねします。

問 10-1 平日の「定期的な教育・保育事業」を利用していない理由は何ですか。(複数回答可)

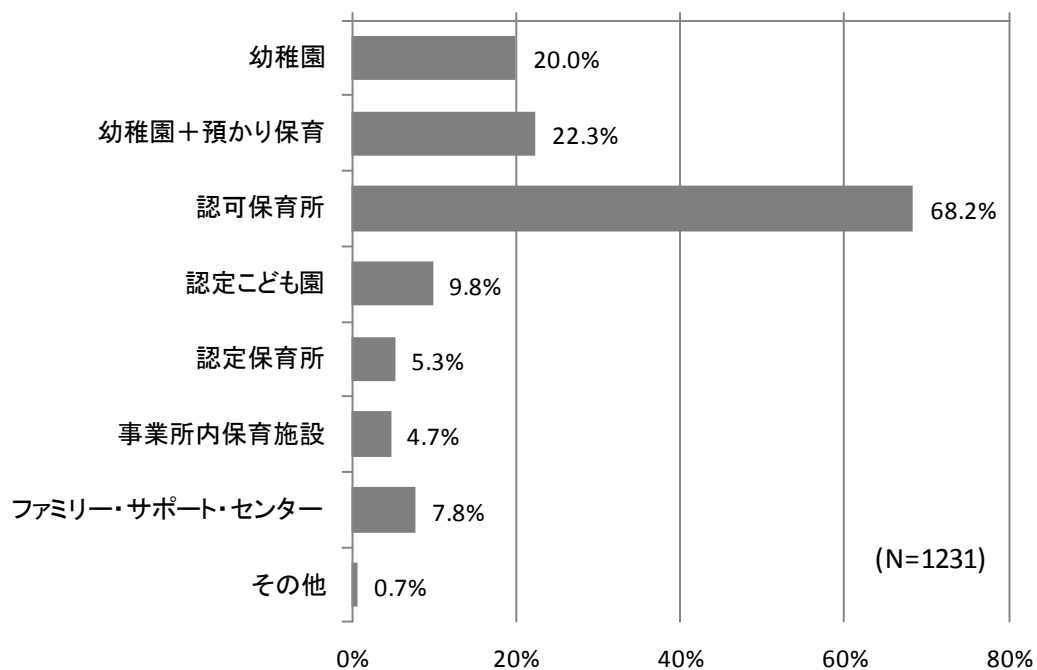


<利用したい年齢（子どもがまだ小さいためと答えた方のみ回答）>



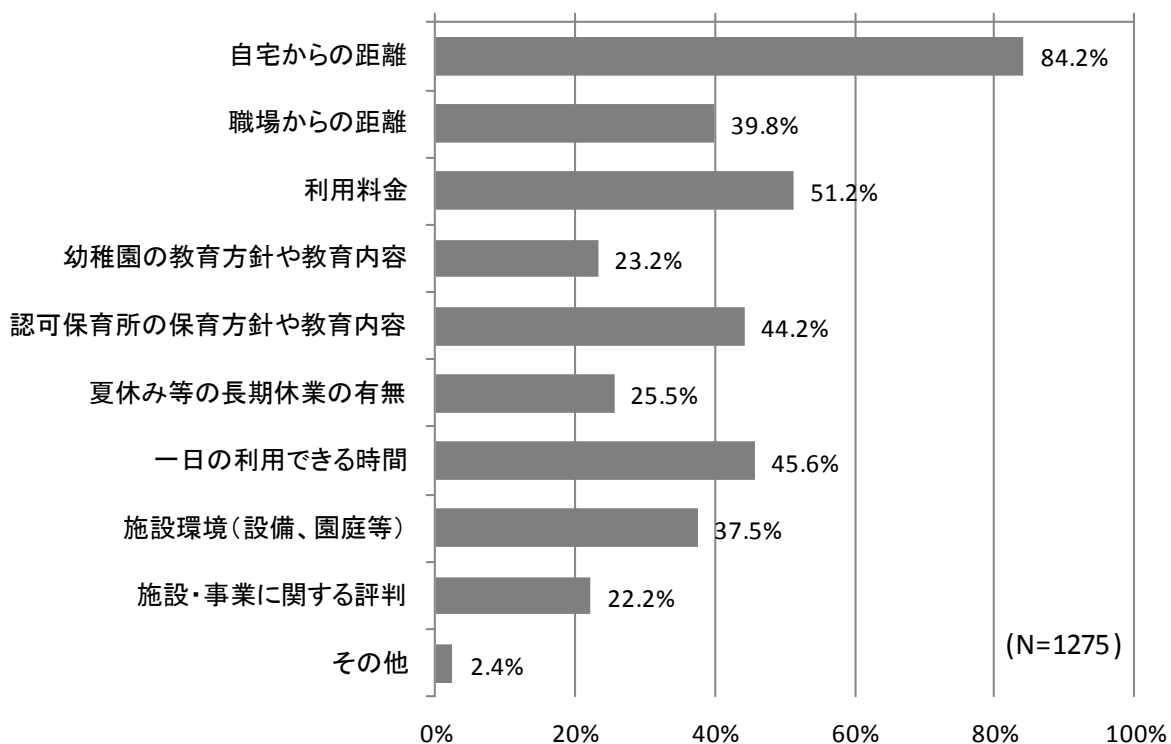
➤ 「利用していない理由」は、「利用する必要がある」43.0%と「子どもがまだ小さいため」46.3%が多い。また、「子どもがまだ小さいため」と回答した人の40.7%は1歳になったら、37.3%は3歳になったら利用を考えるとしている。

問 11 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(複数回答可)



- 定期的に利用したい事業は、「認可保育所」が 68.2%、「幼稚園」が 20.0%、「幼稚園+預かり保育」が 22.3%、「認定こども園」が 9.8%となっている。

問 11-1 平日の日中の教育・保育事業を選択するにあたり、重視することは何ですか。
(複数回答可)



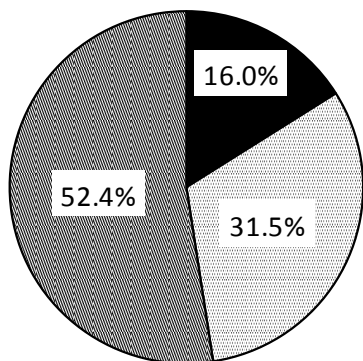
- ▶ 平日の日中の教育・保育事業を選択するにあたり、重視することは「自宅からの距離」が84.2%ともっとも多く、次いで「利用料金」が51.2%、「一日の利用できる時間」が45.6%となっている。

4. 土曜・休日・長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望

あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についておたずねします。

問 12 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。

● 土曜日

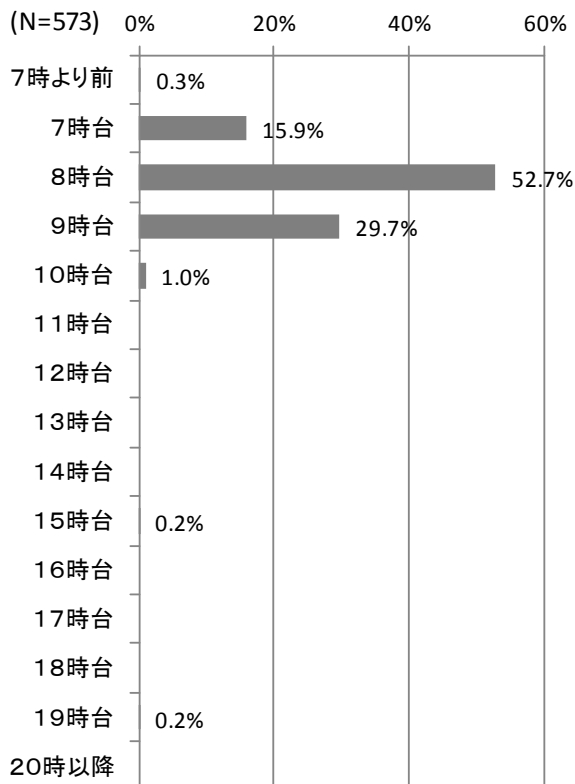


凡例

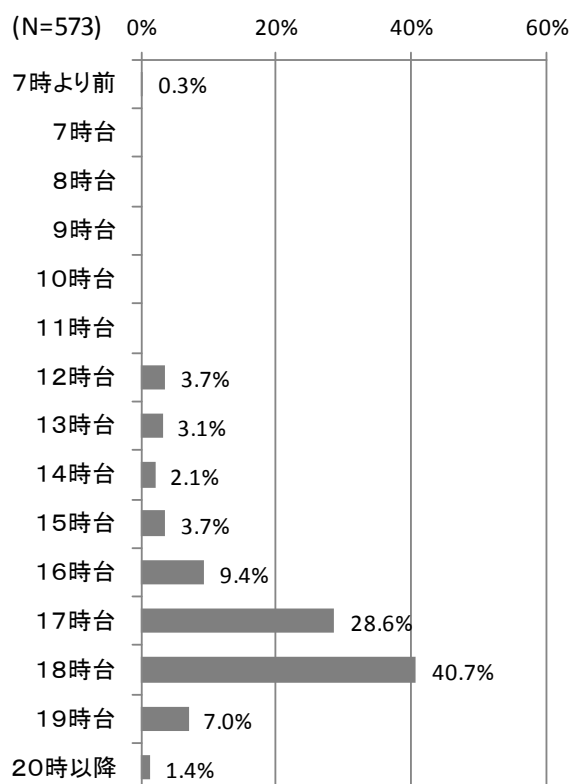
- ほぼ毎週利用したい
- ▨ 月に1~2回利用したい
- ▩ 利用する必要はない

(N=1240)

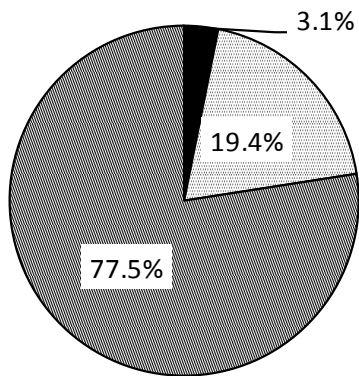
<利用開始時刻>



<利用終了時刻>



● 日曜・祝日

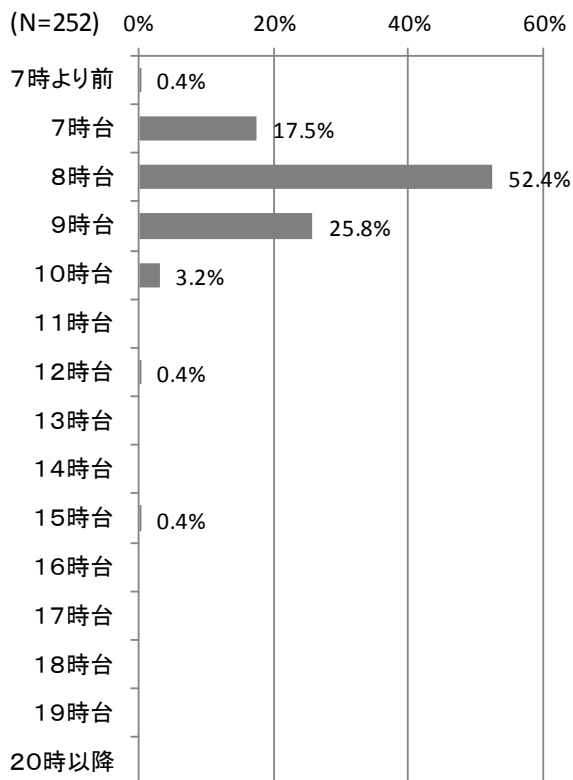


凡例

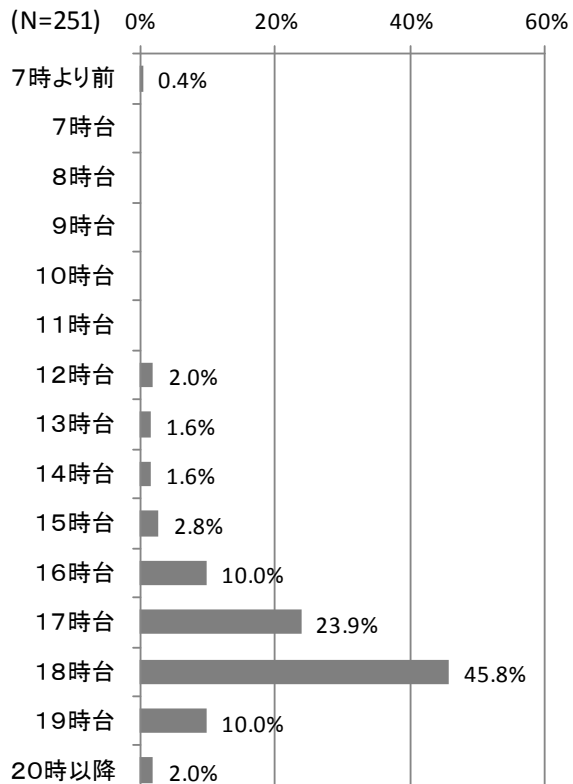
- ほぼ毎週利用したい
- ▨ 月に1~2回利用したい
- ▩ 利用する必要はない

(N=1154)

<利用開始時刻>



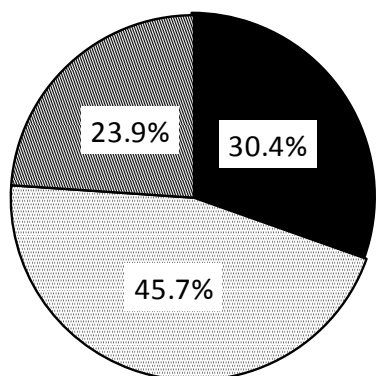
<利用終了時刻>



➤ 土曜日の定期的な利用希望は16.0%、日曜日・祝日は3.1%となっており、利用したい時間帯は「8時台に預け」と「18時台に迎え」がもっとも多い。

現在、「幼稚園」を利用されている方におたずねします。

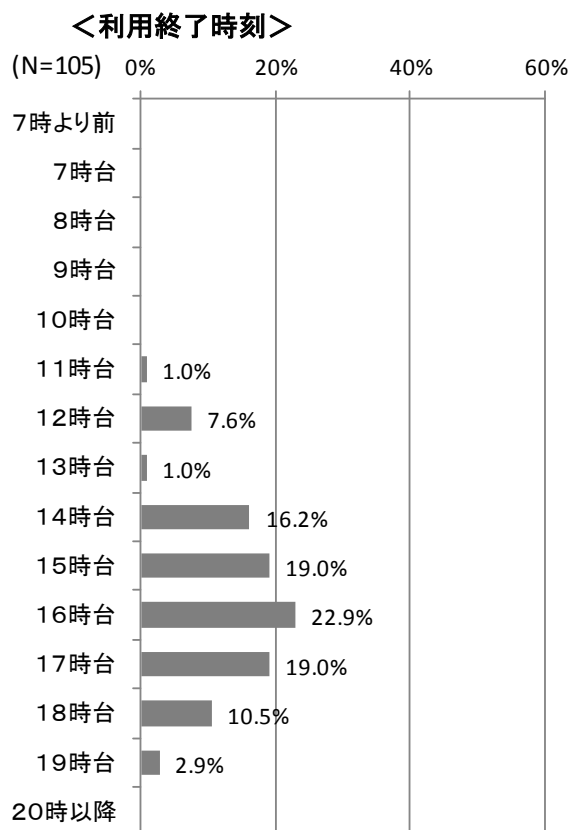
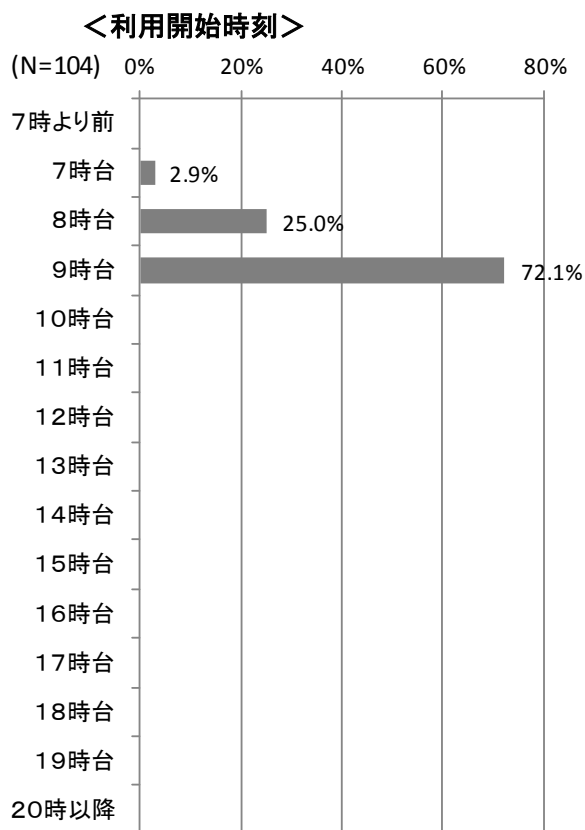
問 13 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期休業中の教育・保育事業の利用を希望しますか。



凡例

- 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
- 休みの期間中、週に数日利用したい
- ▨ 利用する必要はない

(N=138)

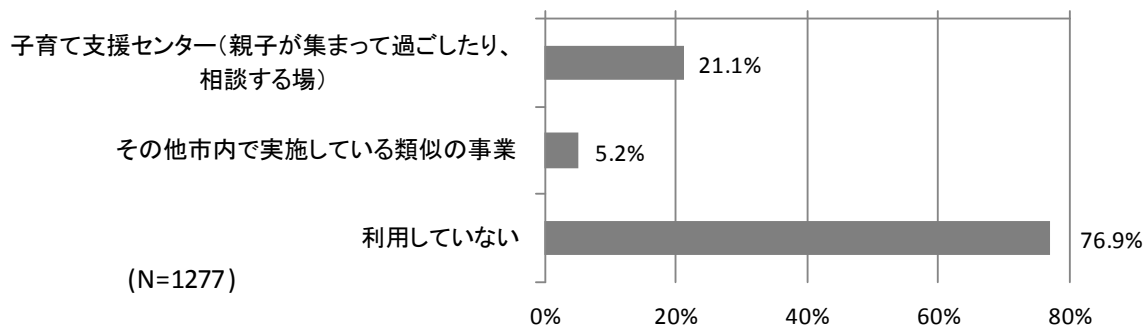


➤ 幼稚園利用者の76.1%が、夏休み・冬休みなど長期休業中の預かり保育を希望している。

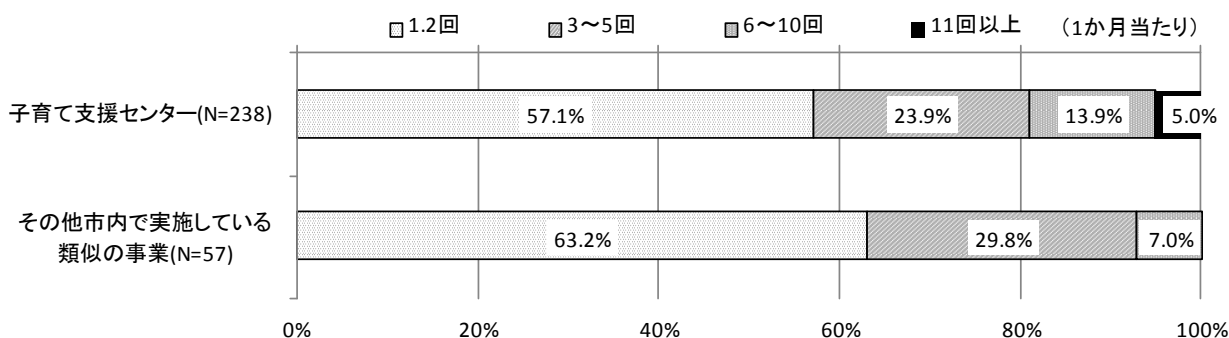
5. 地域の子育て支援事業の利用状況

あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についておたずねします。

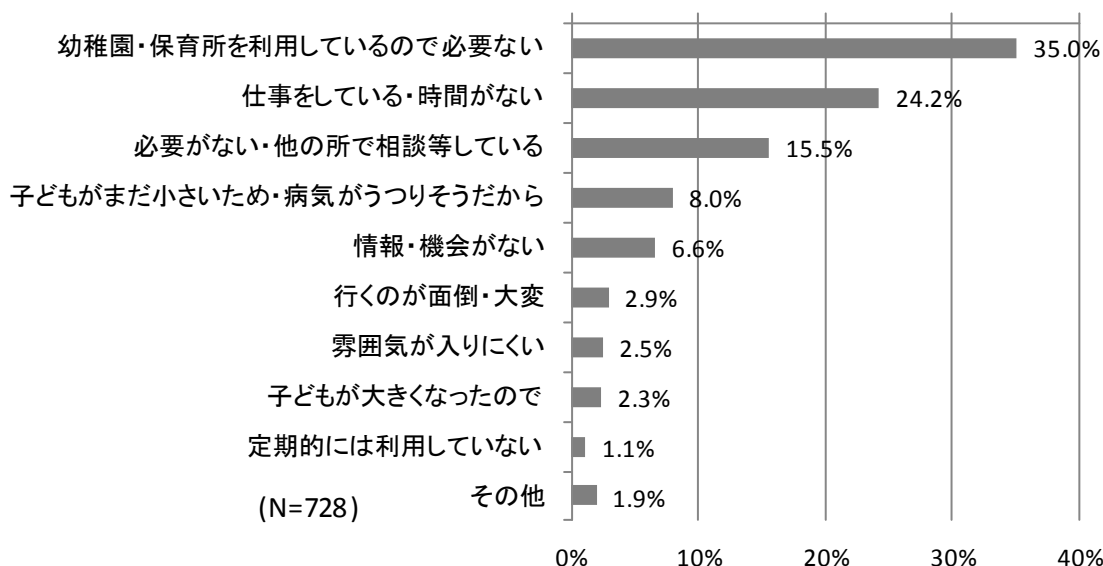
問 14 あて名のお子さんは、現在、子育て支援センター（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、市内には、各子育て支援センター、駅ナカ赤ちゃんルーム、さんぴーの広場、中央保育所「れもん組」があります）を利用していますか。
（複数回答可）



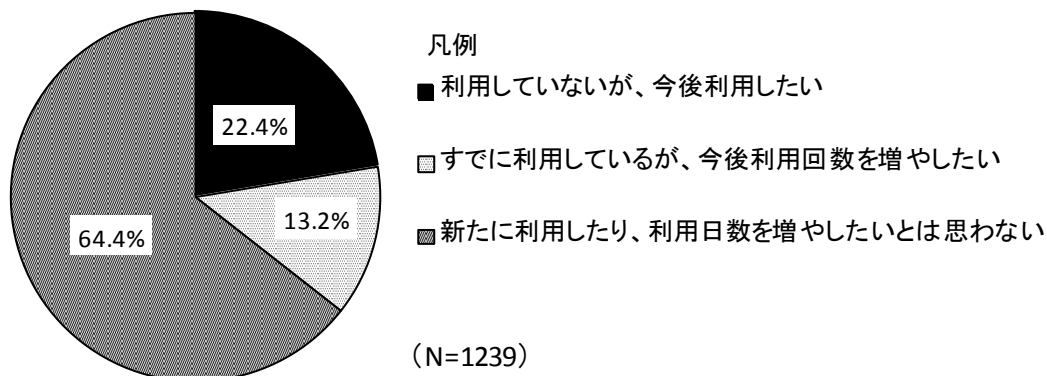
<利用している人の利用回数>



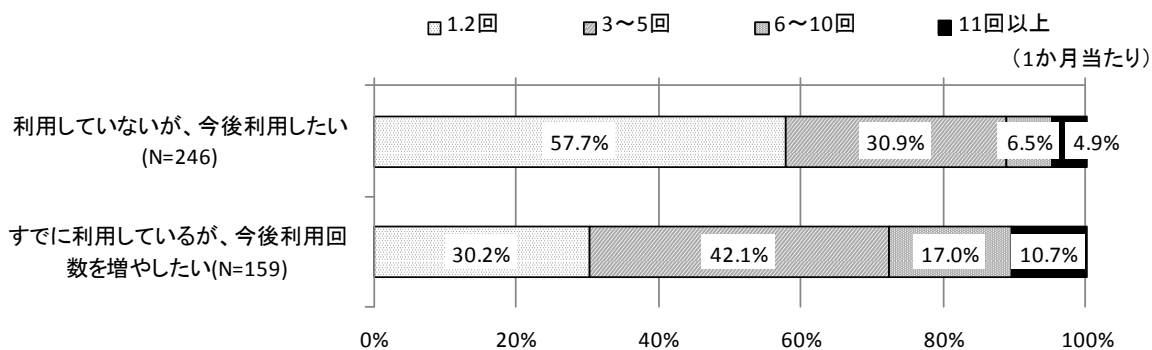
<利用していない人の理由>



問 15 問 14 のような子育て支援センターについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。



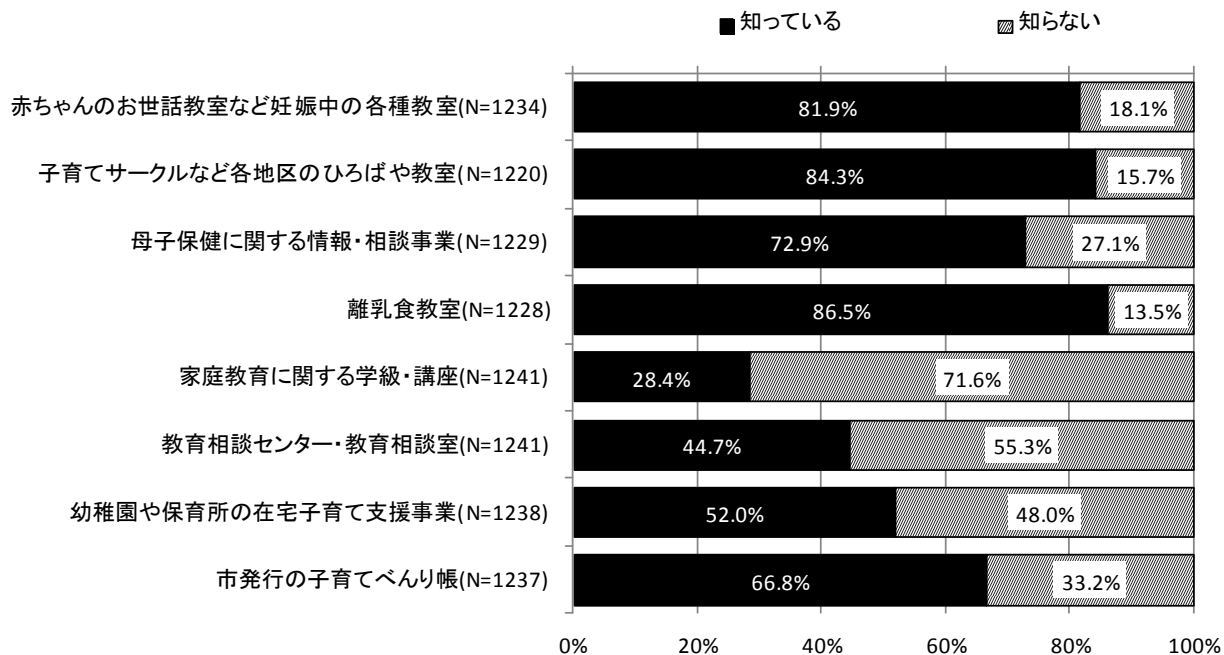
＜今後利用したい、利用回数を増やしたい人の利用希望回数＞



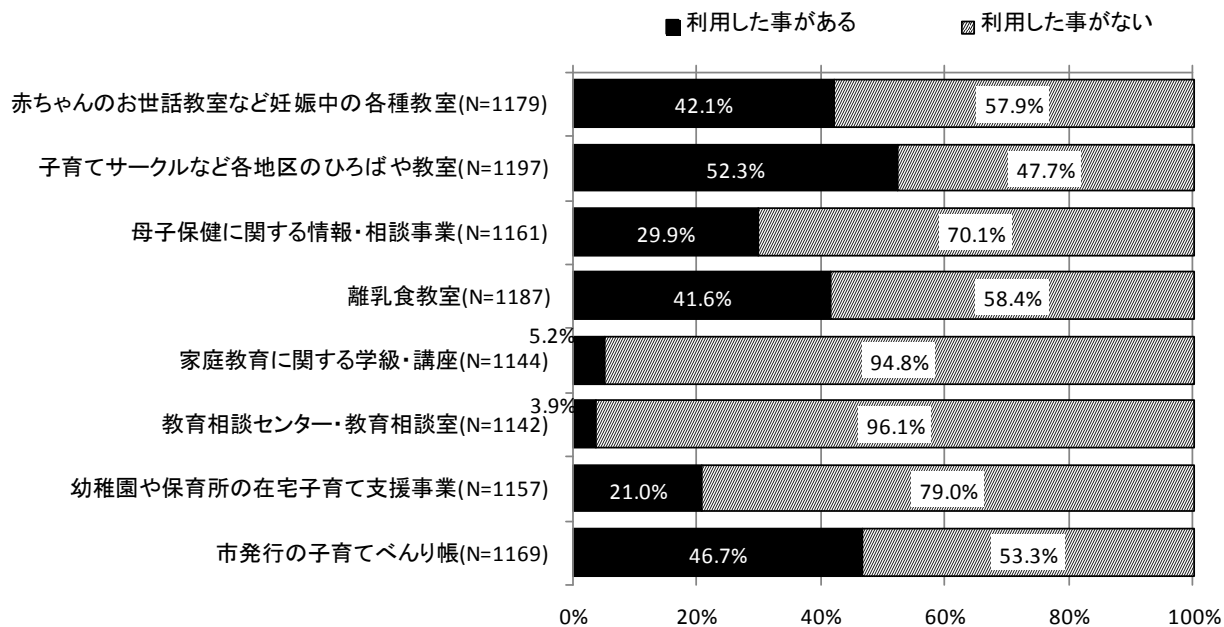
▶ 子育て支援センターは 21.1%の人が利用。「利用していないが、今後利用したい」または「すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい」と思う人は 35.6%。

問 16 次の 8 事業についてお答えください。

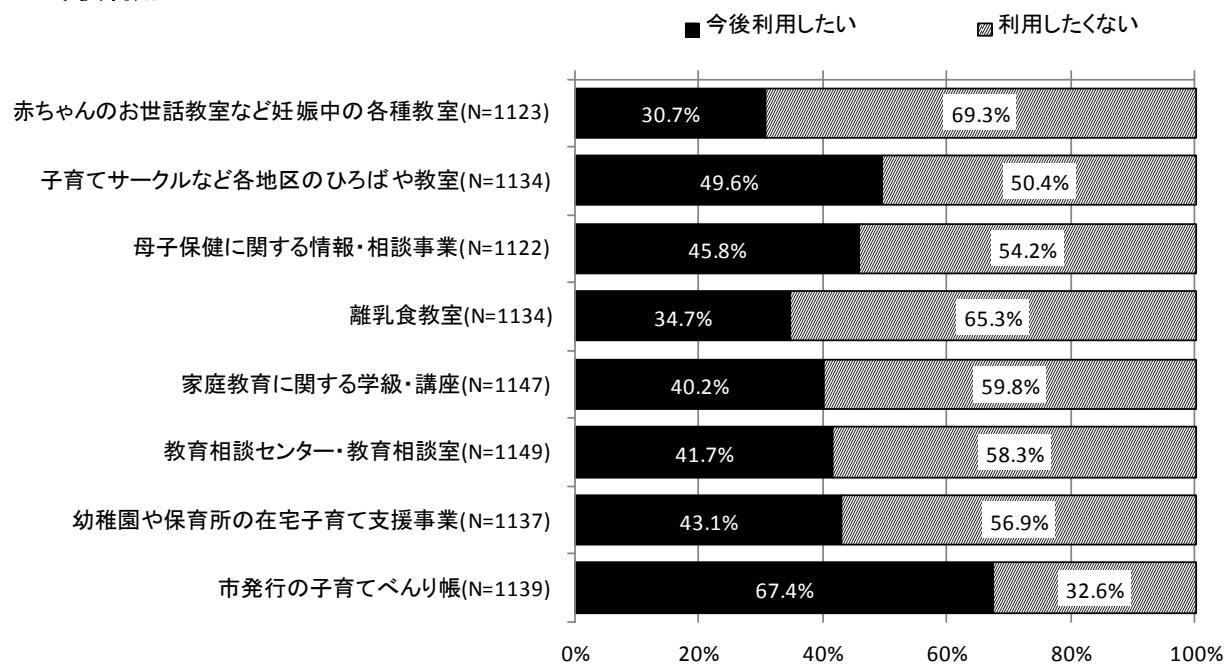
● 知っているか？



● これまでに利用したことがあるか？



● 今後利用したいか？



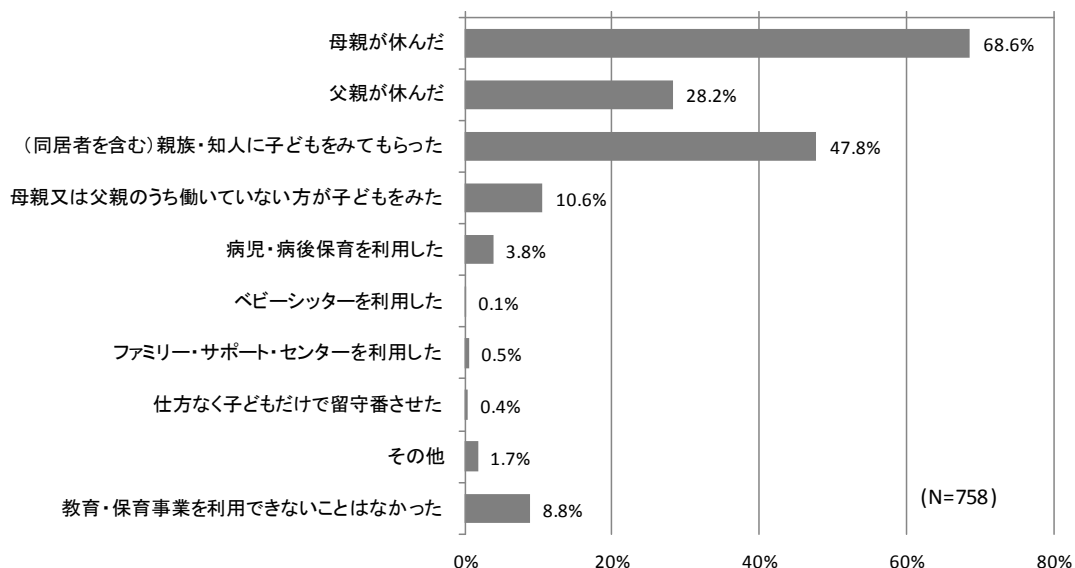
- 「家庭教育に関する学級・講座」は、利用実績 5.2%に対して利用希望 40.2%、「教育相談センター・教育相談室」は、利用実績 3.9%に対して利用希望は 41.7%。

6. 病気の際の対応（平日の教育・保育を利用する方のみ）

あて名のお子さんの病気の際の対応についておたずねします。
（平日の教育・保育を利用する方のみ）

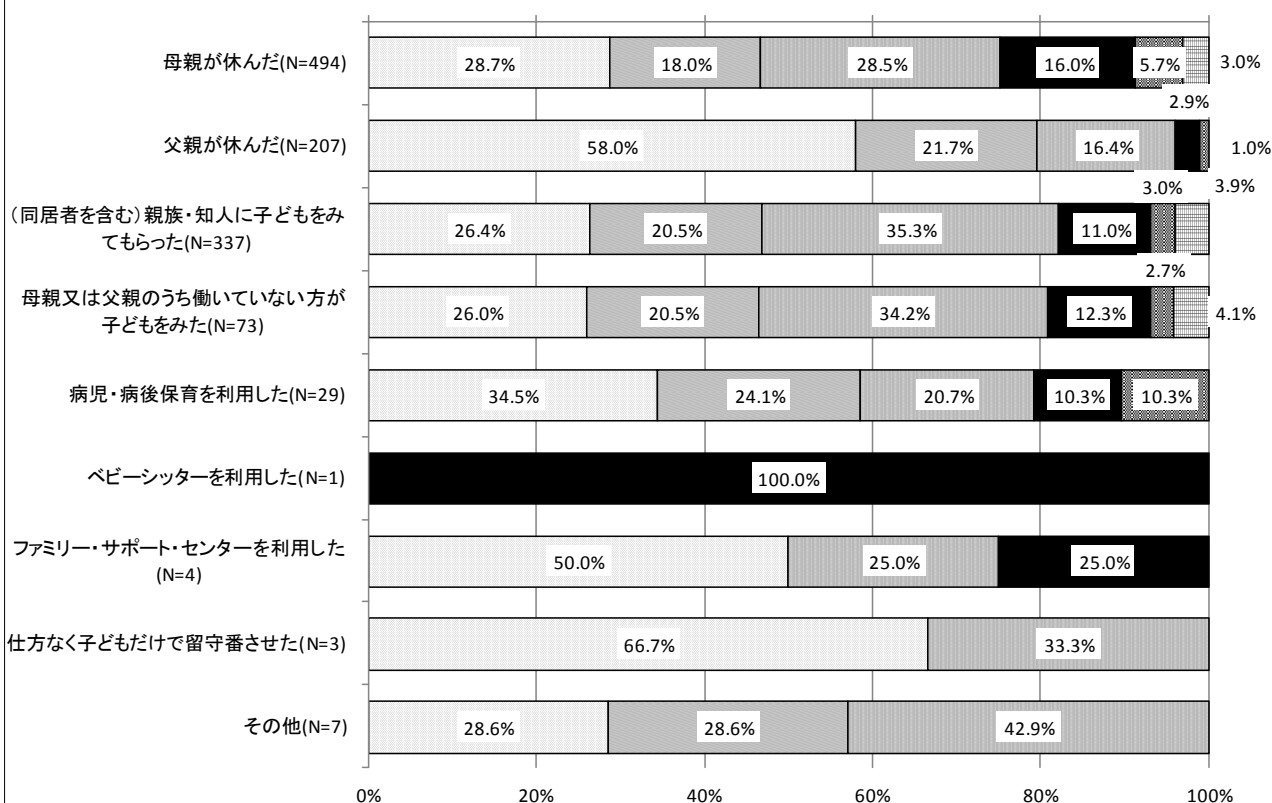
平日の定期的な教育・保育事業（幼稚園・保育所・認定こども園など）を利用している方におたずねします。

問17 この1年間に、あて名のお子さんが病気やけがで幼稚園や保育所などの平日の「定期的な教育・保育事業」を利用できなかったことはありますか。ある場合は、その際にどのように対処されたかをお答えください。（複数回答可）



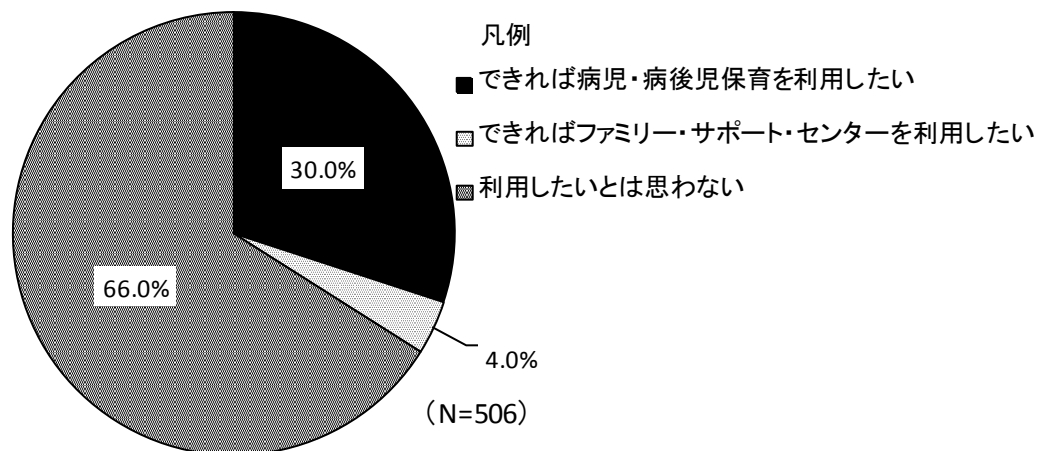
<対処方法ごとの年間日数>

1～3日
 4,5日
 6～10日
 11日～20日
 21～30日
 31日以上



問 17 で「父親・母親が休んだ」と回答した方におたずねします。

問 17-1 母親又は父親が仕事を休んで子どもをみたとき、「できれば病児・病後児保育やファミリー・サポート・センターを利用したい」と思われましたか。

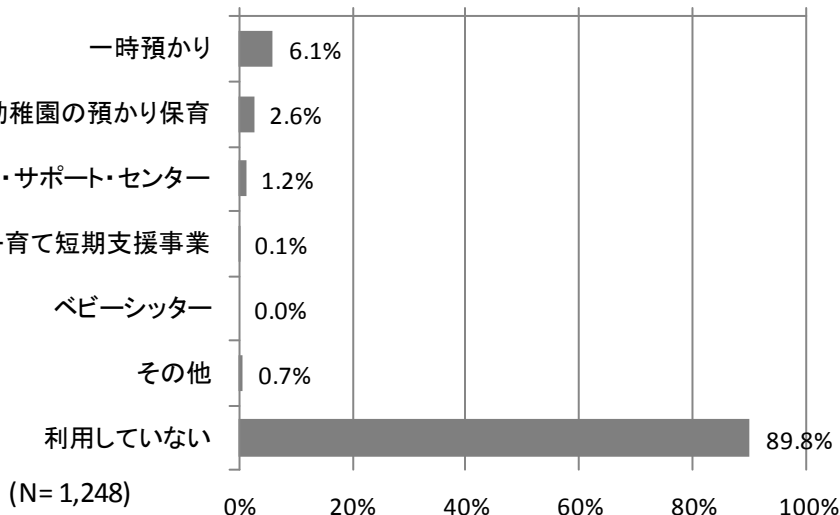


- この1年間で子どもの病気やけがで「定期的な教育・保育事業」が利用できず、母親や父親が仕事を休んで子どもをみたとき、「できれば病児・病後児保育やファミリー・サポート・センターを利用したい」と思った人は34.0%、一方「利用したいとは思わない」は66.0%。

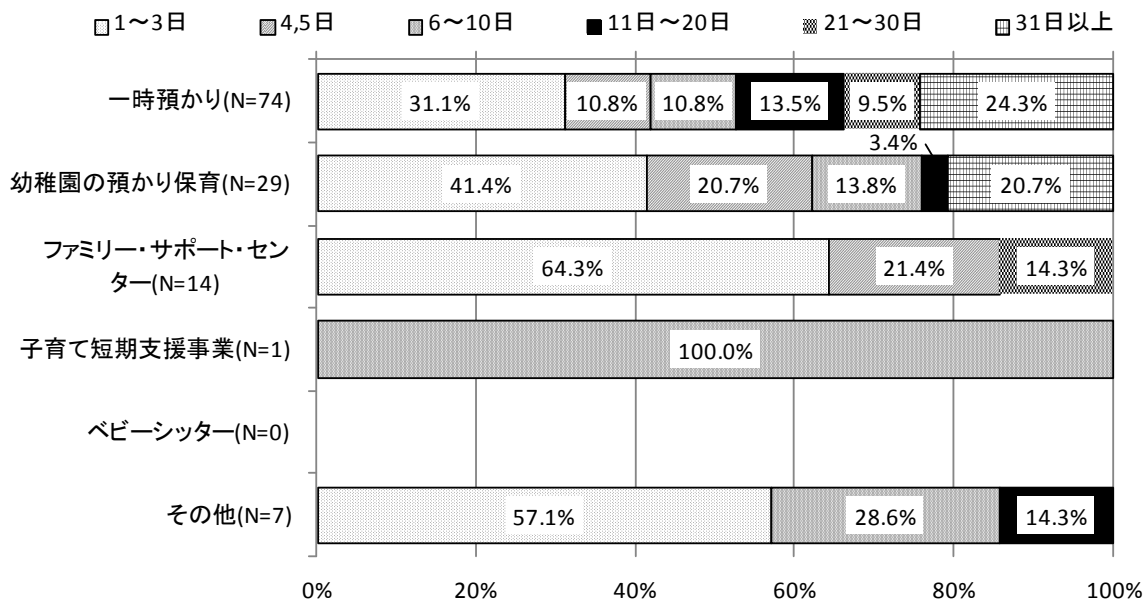
7. 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用

あて名のお子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についておたずねします。

問 18 保護者の私用（買い物、習い事、リフレッシュ目的等）、用事（冠婚葬祭、学校行事、通院等）、勤務日が一定でない仕事等の目的で日中「不定期的に」利用している事業はありますか。（複数回答可）

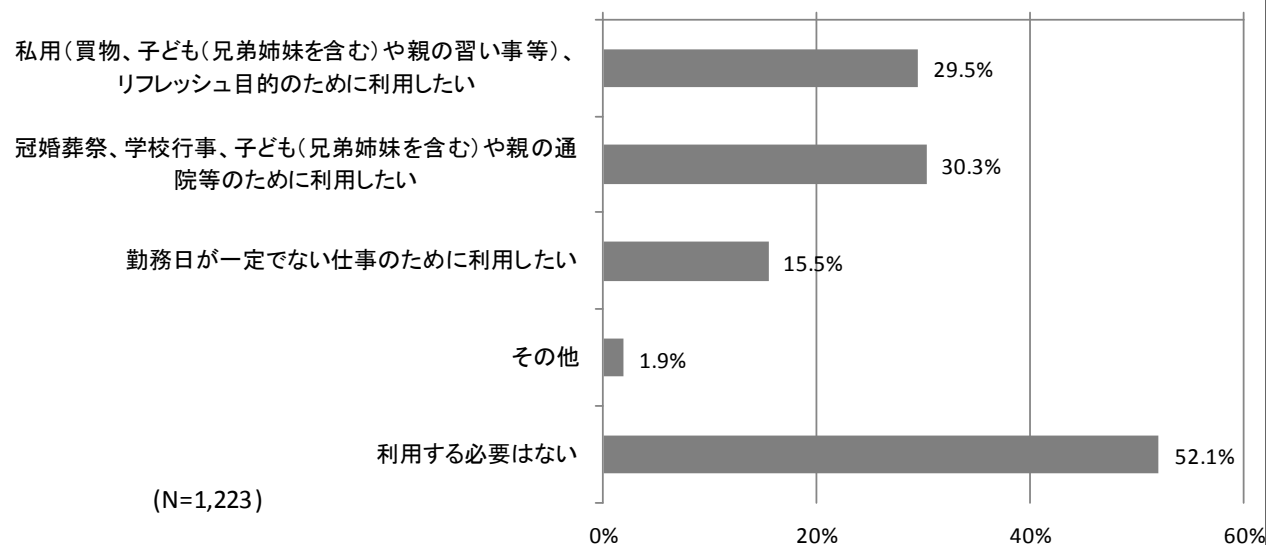


<利用している事業ごとの年間利用日数>

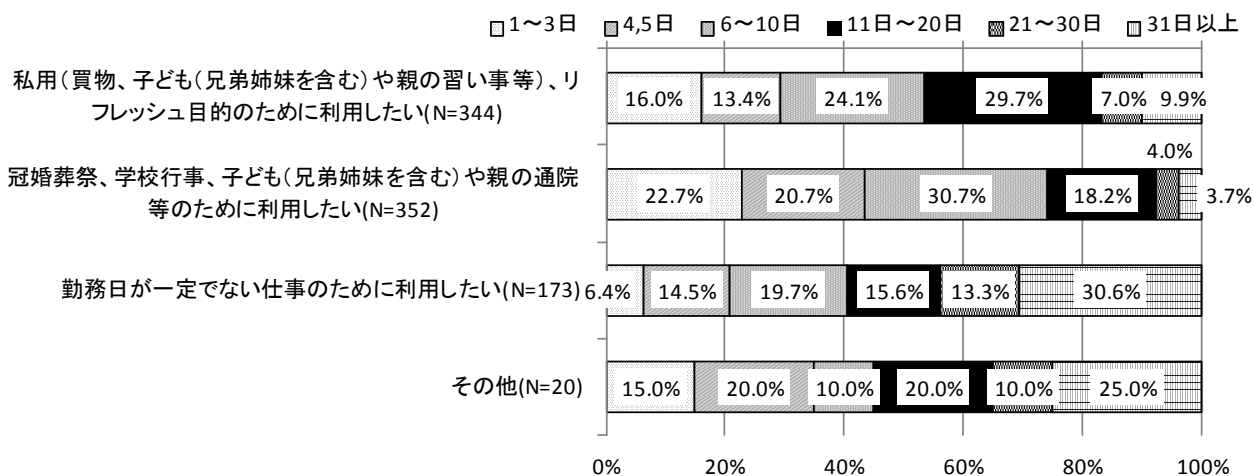


➤ 不定期的に利用する事業でもっとも多いのは「一時預かり」で 6.1%、次いで「幼稚園の預かり保育」2.6%、「利用していない」は 89.8%。

問 19 私用、親の通院、不定期の仕事等の目的で、1年間で何日、日中に問 18 の事業を利用する必要があると思いますか。利用したい目的ごとに日数をお答えください。(複数回答可)

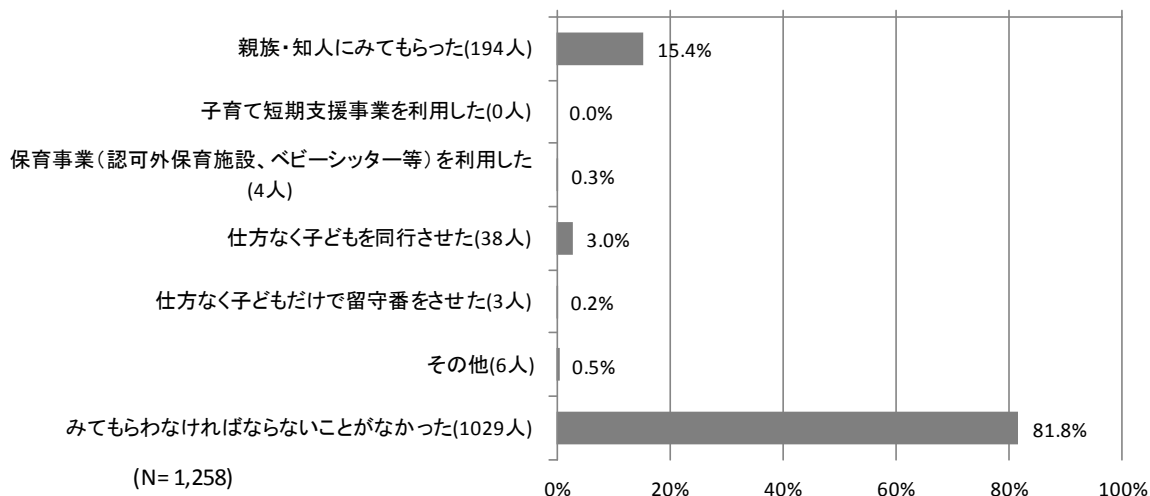


＜利用目的ごとの年間利用希望日数＞

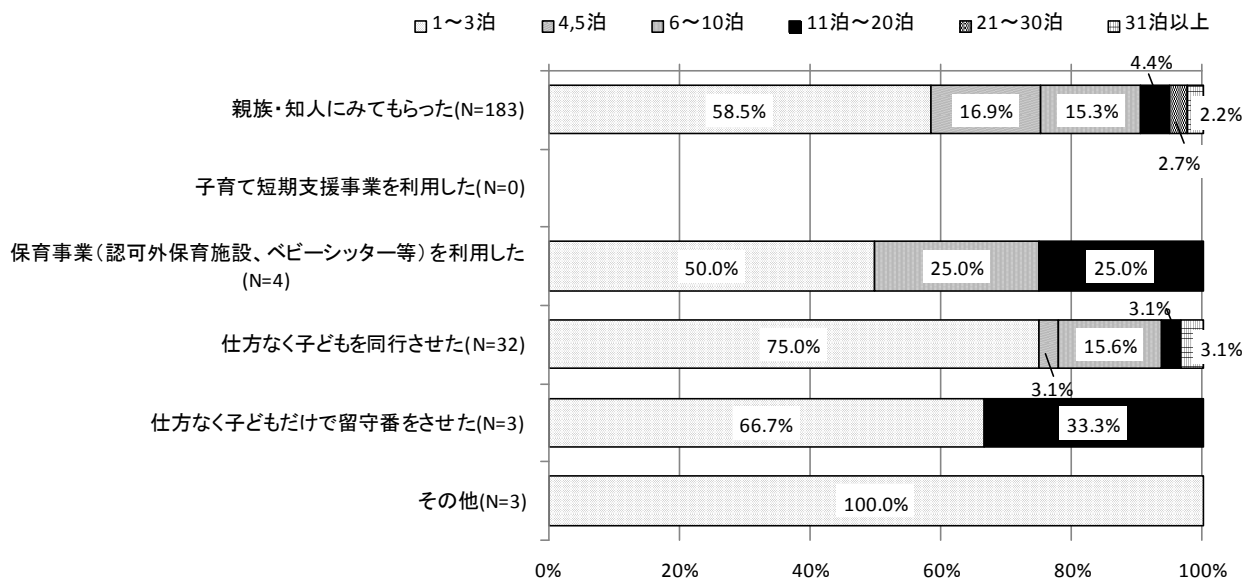


- ▶ 不定期の事業を「利用する必要はない」は 52.1%、「私用、リフレッシュ目的のために利用したい」29.5%、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等のために利用したい」30.3%、「勤務日が一定でない仕事のために利用したい」15.5%。

問 20 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで同居の家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含まれます）。（複数回答可）



＜みてもらわなければならないことがあった場合の年間泊数＞



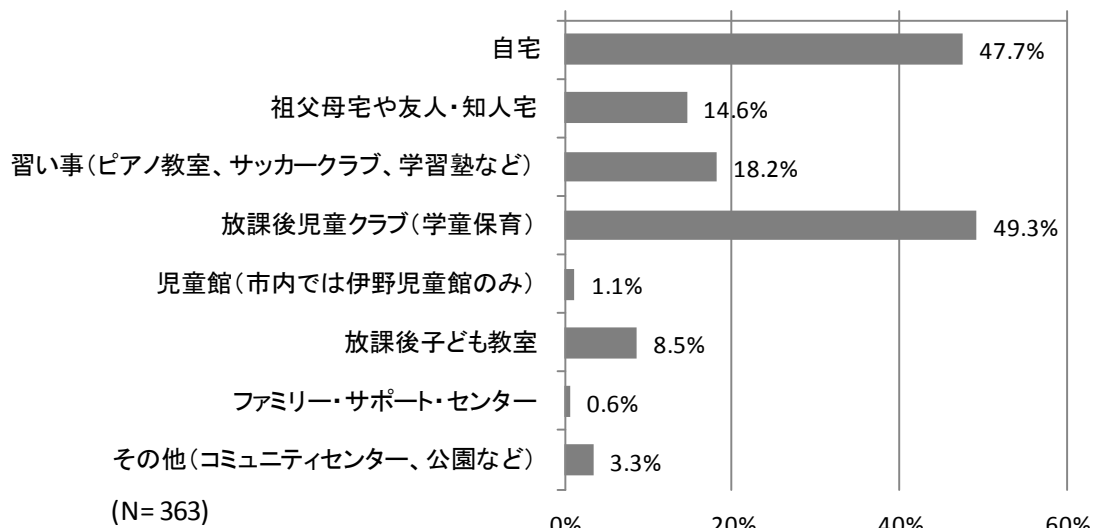
➤ 1年間に、保護者の用事で、子どもを泊りがけで同居の家族以外に預ける必要があったのは18.2%。

8. 小学校就学後の放課後の過ごし方（宛名の児童が4歳以上である方）

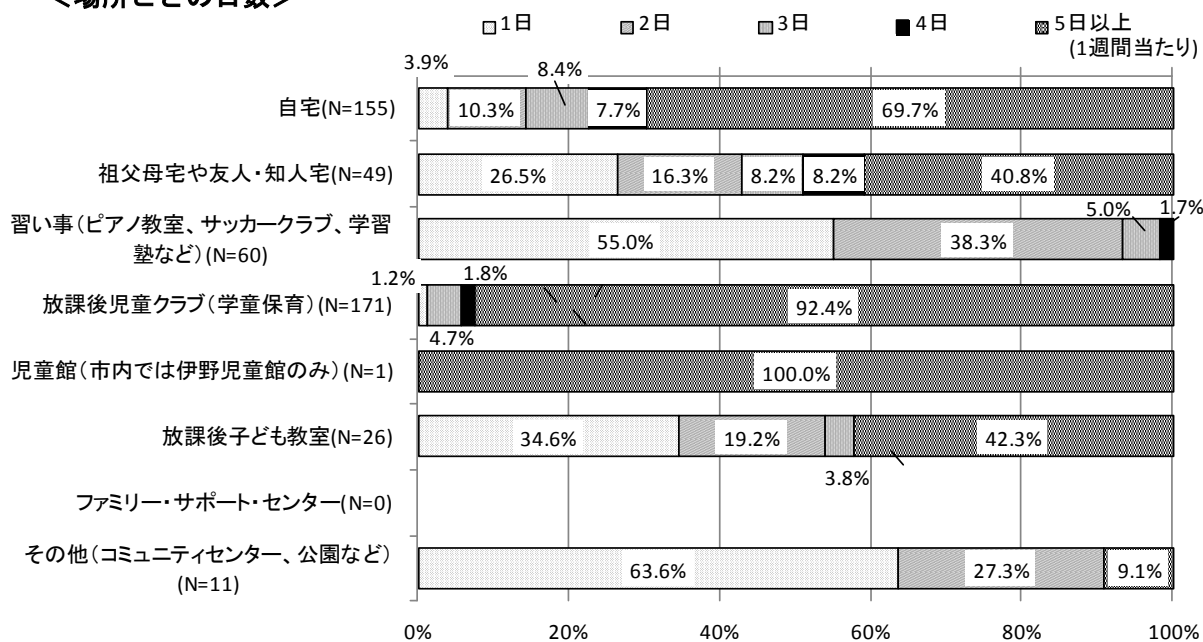
あて名のお子さんが4歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についておたずねします。

あて名のお子さんが4歳以上の方におたずねします。

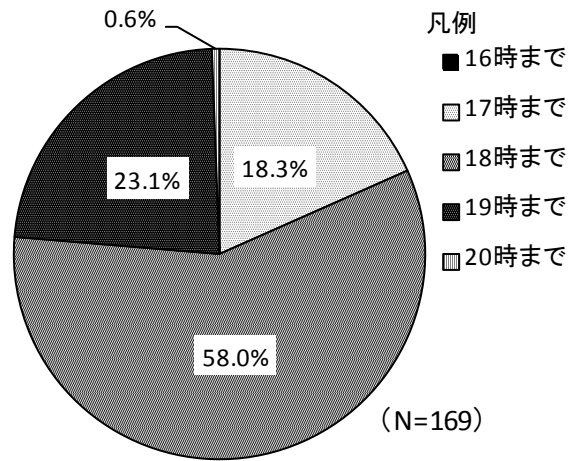
問 21 あて名のお子さんについて、小学校1～3年生のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（複数回答可）



<場所ごとの日数>



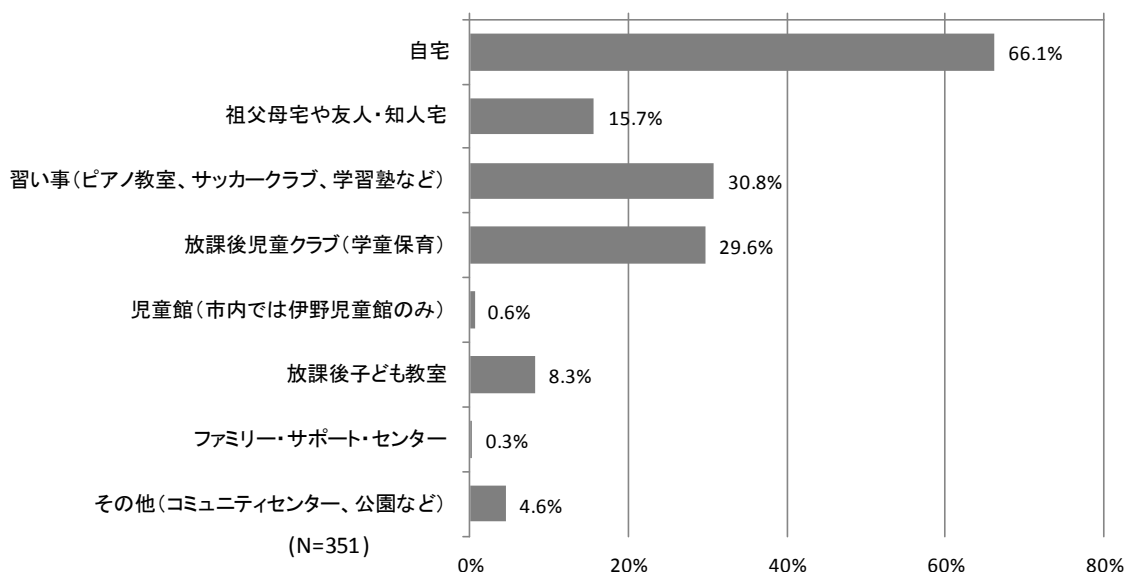
<放課後何時まで預けるか（放課後児童クラブ選択者のみ回答）>



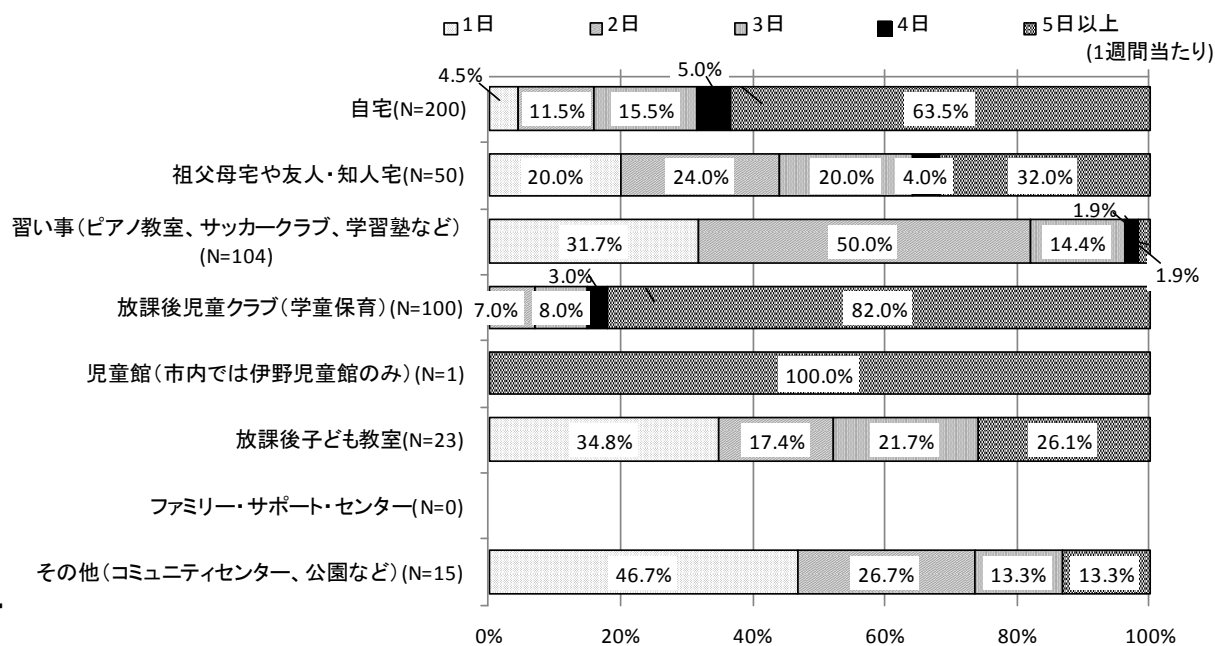
- 小学校 1～3 年生で放課後に過ごす場所の希望は、「放課後児童クラブ」49.3%、「自宅」47.7%。

あて名のお子さんが4歳以上の方におたずねします。

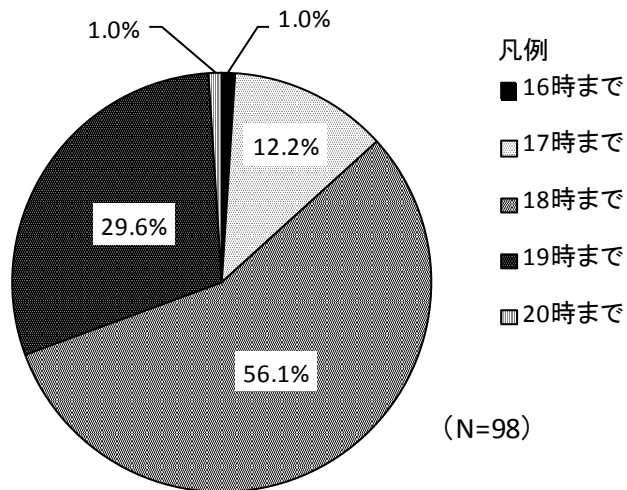
問 22 あて名のお子さんについて、小学校4～6年生になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（複数回答可）



<場所ごとの日数>



＜放課後何時まで預けるか（放課後児童クラブ選択者のみ回答）＞

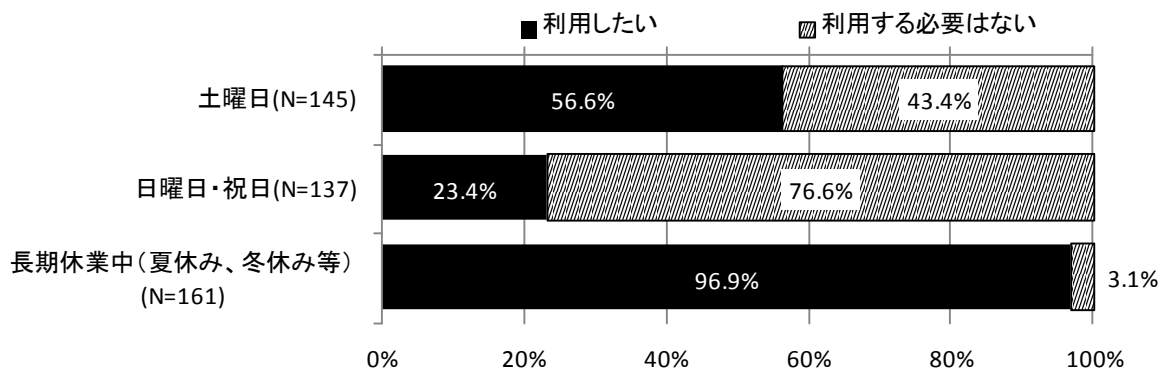


- ▶ 小学校 4～6 年生で放課後に過ごす場所の希望は、「放課後児童クラブ」29.6%、「自宅」66.1%。

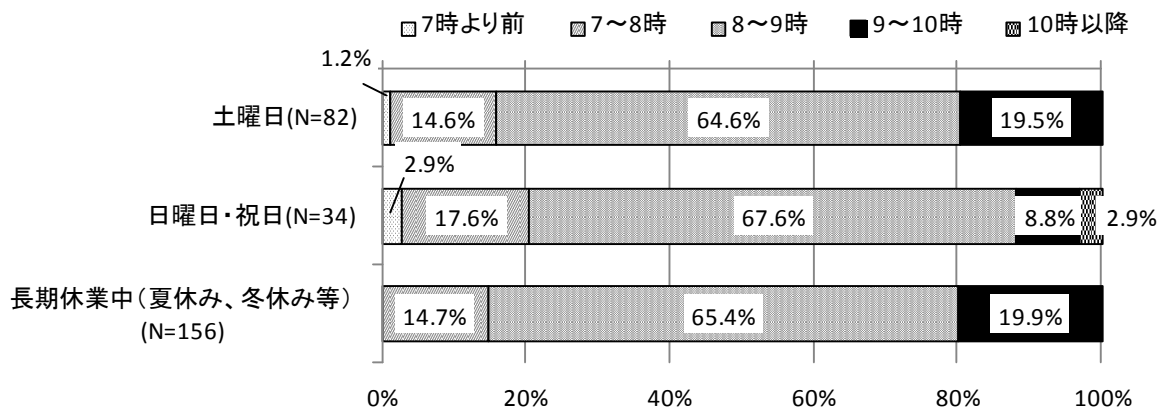
問 21 または問 22 で「放課後児童クラブ（学童保育）」と回答した方におたずねします。

問 23 あて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、長期休業中に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

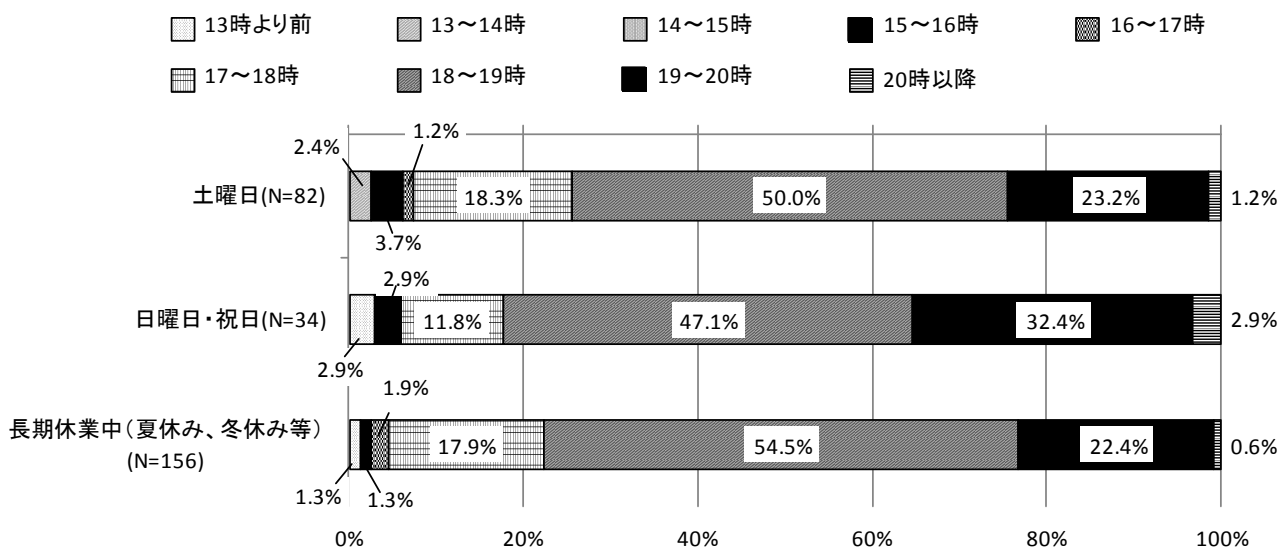
● 小学校 1～3 年生



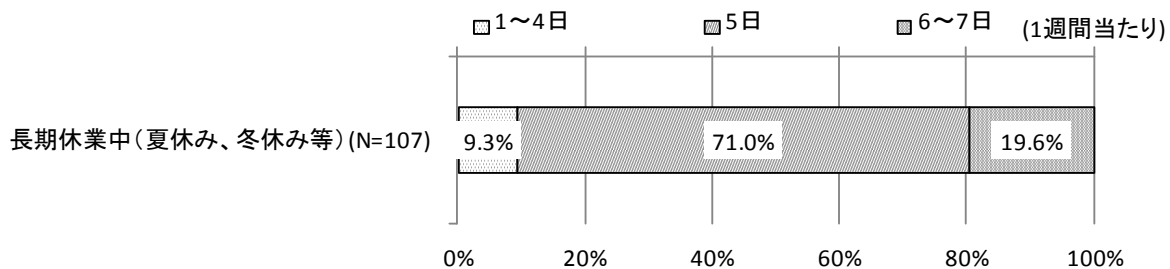
<利用したい場合の開始時刻>



<利用したい場合の終了時刻>

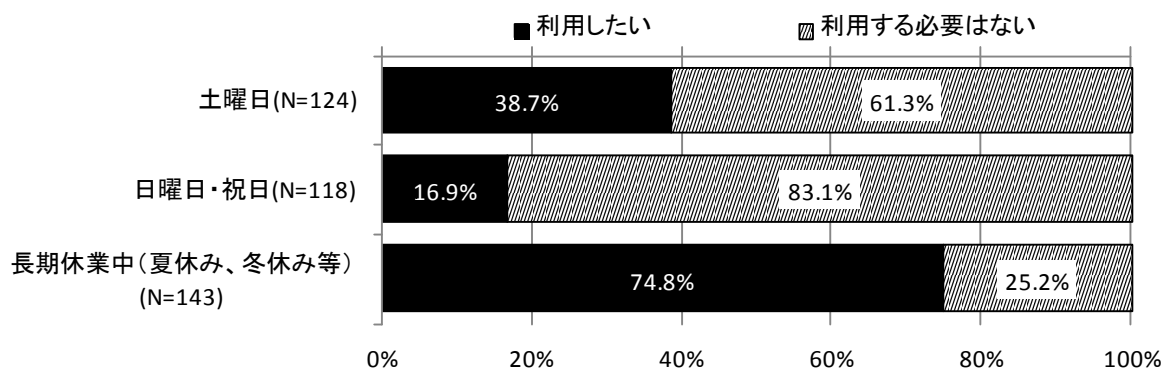


＜長期休業中に利用する場合の日数＞

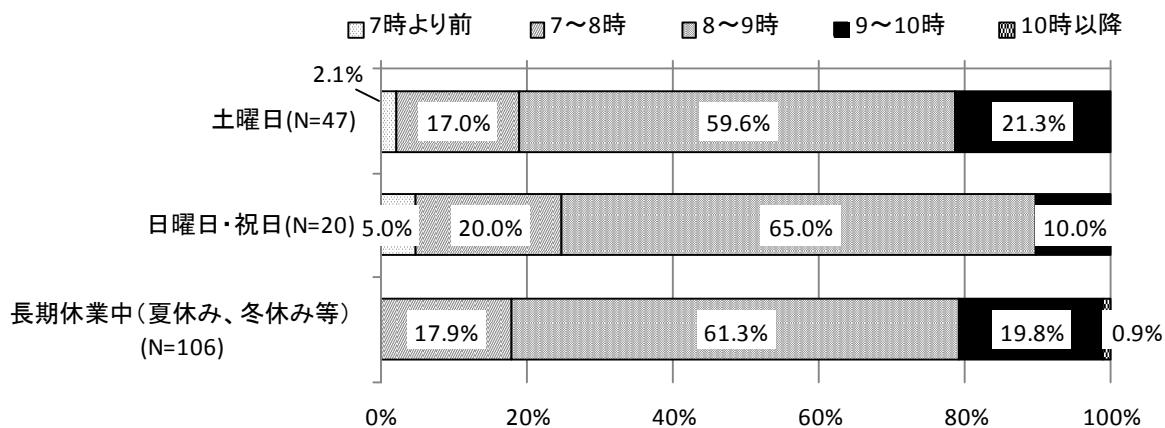


▶ 放課後児童クラブを利用したい小学校1～3年生のうち、「土曜日を利用したい」人は56.6%、「日曜日・祝日を利用したい」人は23.4%、「長期休業中に利用したい」人は96.9%。

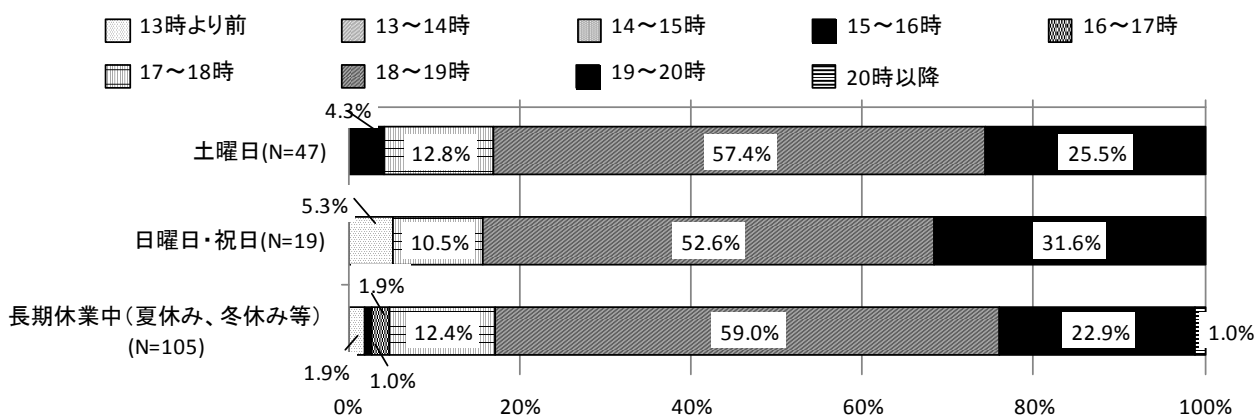
● 小学校4～6年生



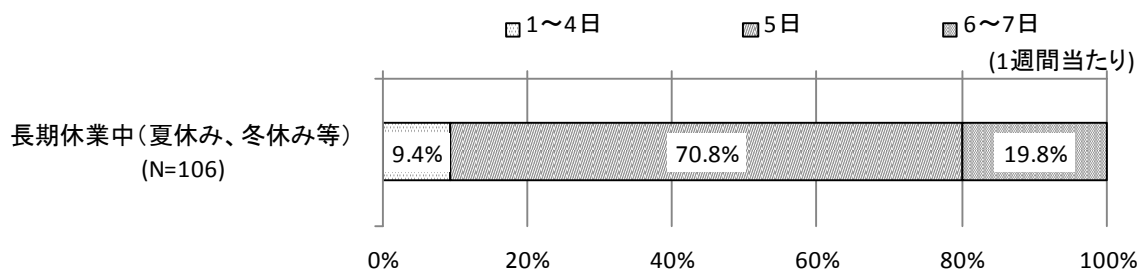
＜利用したい場合の開始時刻＞



＜利用したい場合の終了時刻＞



＜長期休業中に利用する場合の日数＞



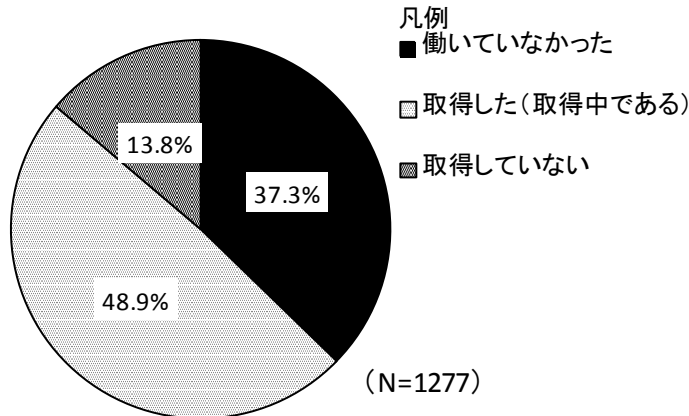
- ▶ 放課後児童クラブを利用したい小学校4～6年生のうち、「土曜日を利用したい」人は38.7%、「日曜日・祝日を利用したい」人は16.9%、「長期休業中に利用したい」人は74.8%。

9. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度等

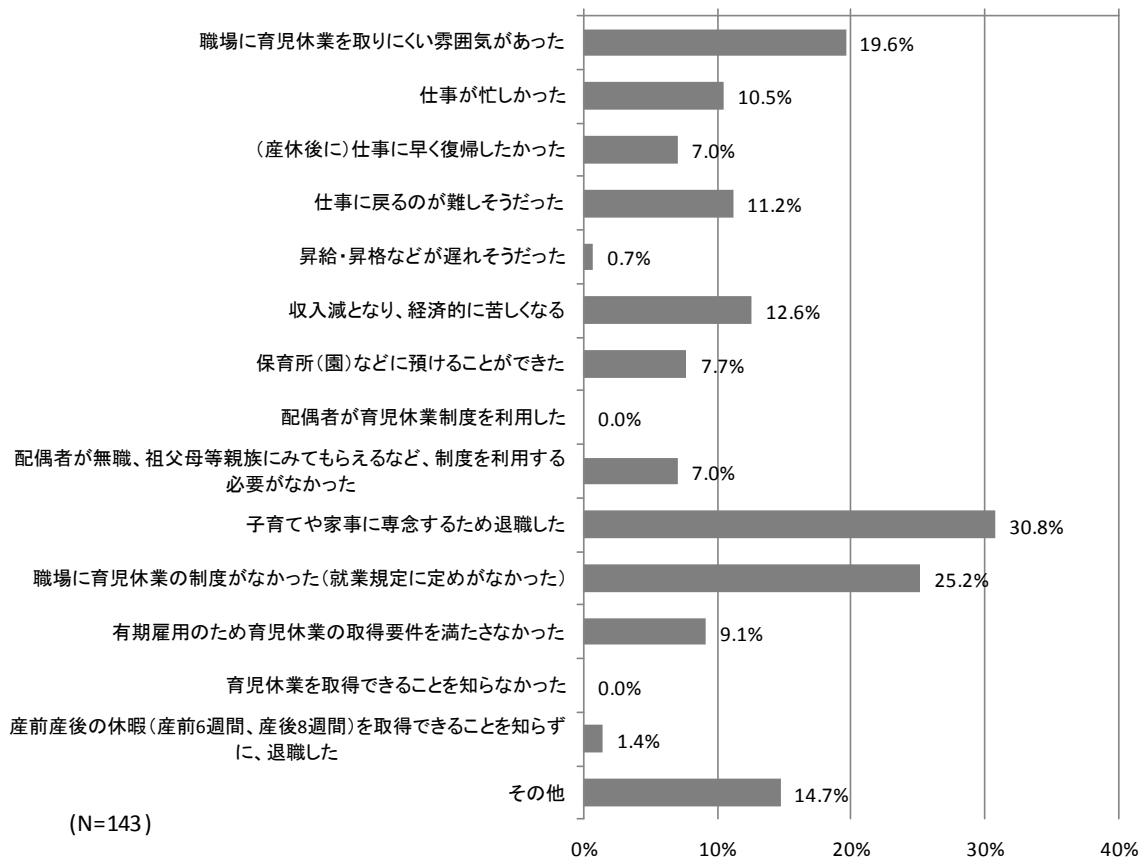
育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についておたずねします。

問 24 あて名のお子さんが生まれた時、父母のどちらかが、または両方が育児休業を取得しましたか。

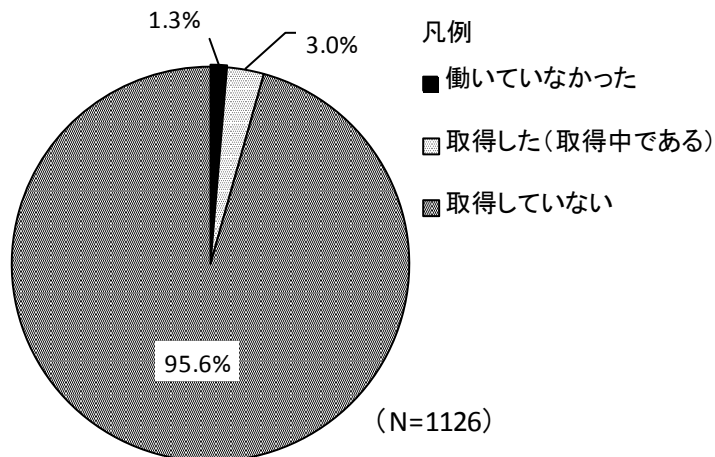
● 母親



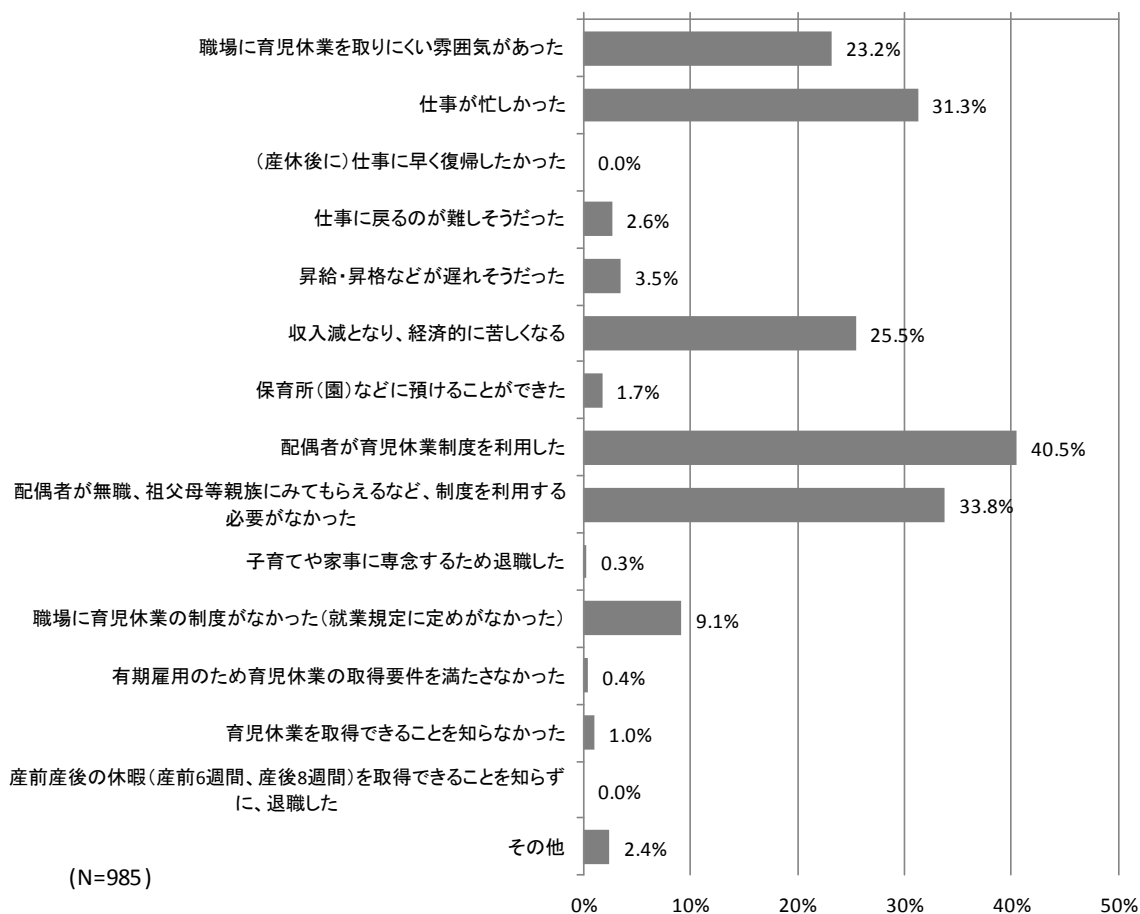
<取得していない理由>



● 父親

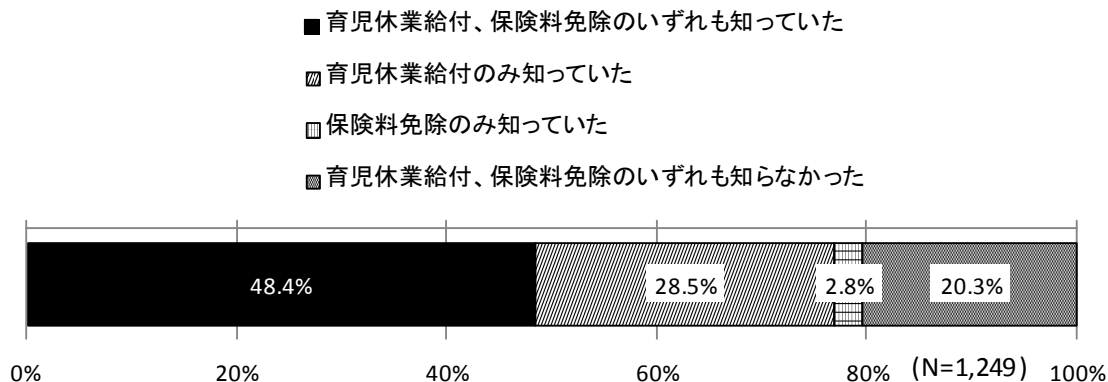


<取得していない理由>



➤ 育児休業を取得していない理由は、母親は「子育てや家事に専念するため退職した」30.8%、「職場に育児休業の制度がなかった」25.2%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」19.6%。父親は「配偶者が育児休業制度を利用した」40.5%、「制度を利用する必要がなかった」33.8%、「仕事が忙しかった」31.3%。

問 24-1 育児休業給付が支給される仕組みや、健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがあります（法律で定められています）が、ご存じですか。

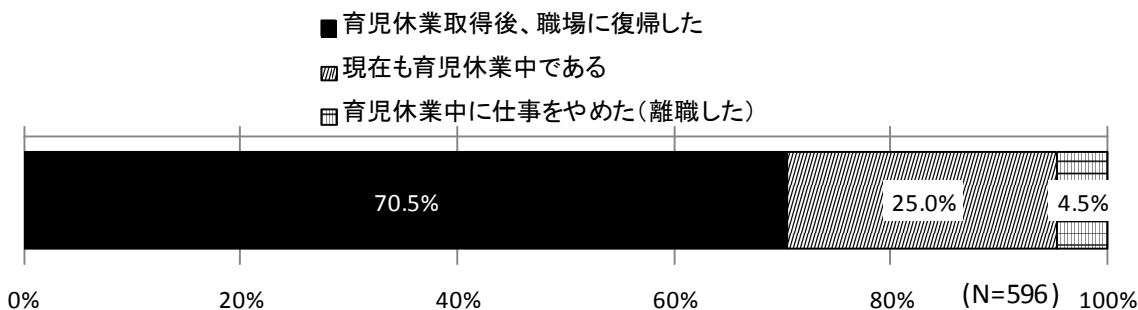


➤ 育児休業給付の仕組みを知っている人は 76.9%、保険料免除の仕組みを知っている人は 51.2%。

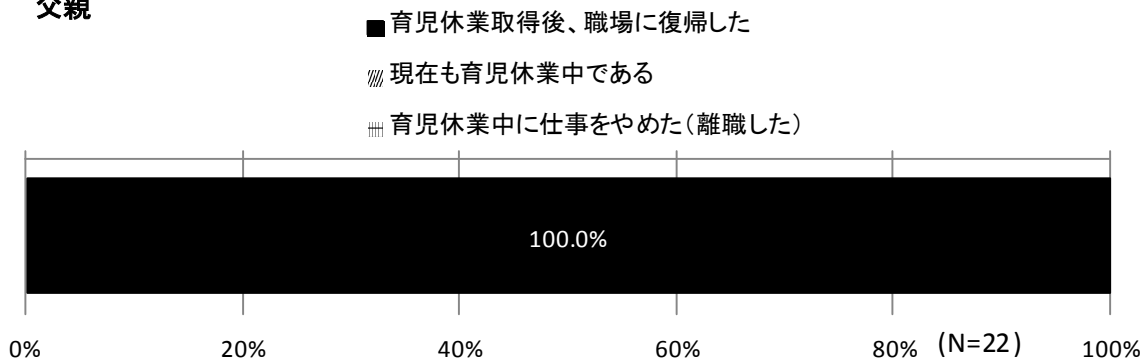
問 24 で「取得した（取得中である）」と回答した方におたずねします。

問 24-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

● **母親**



● **父親**

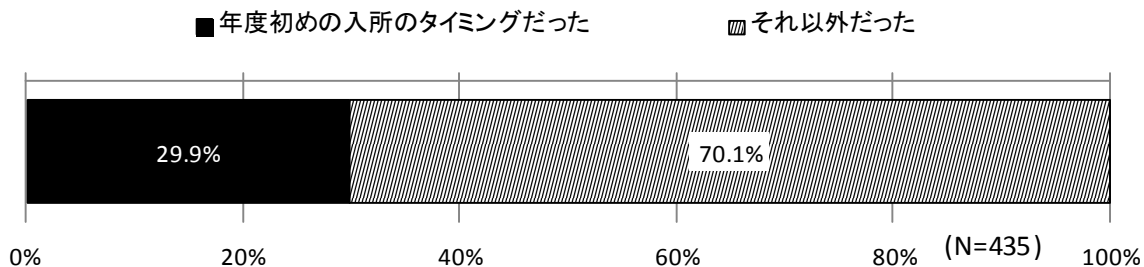


➤ 母親が育児休業取得後、「職場に復帰した」は 70.5%、「育児休業中に仕事をやめた」は 4.5%。

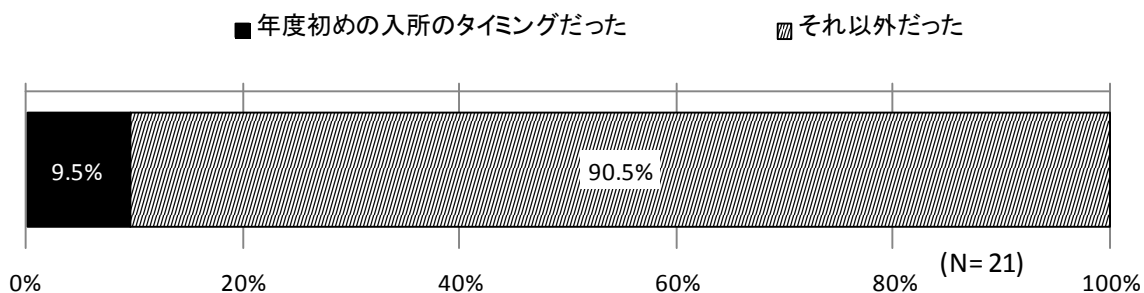
問 24-2 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方におたずねします。

問 24-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。
あるいはそれ以外でしたか。

● 母親



● 父親

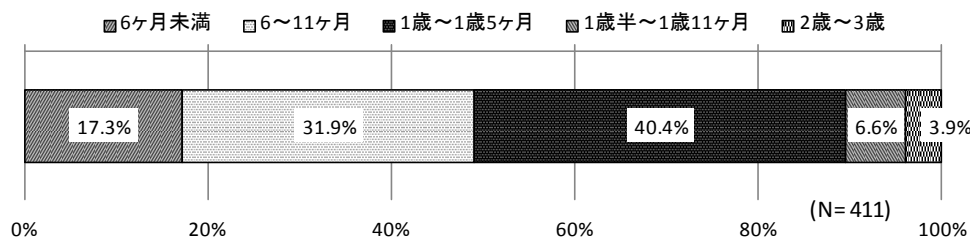


問 24-2 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方におたずねします。

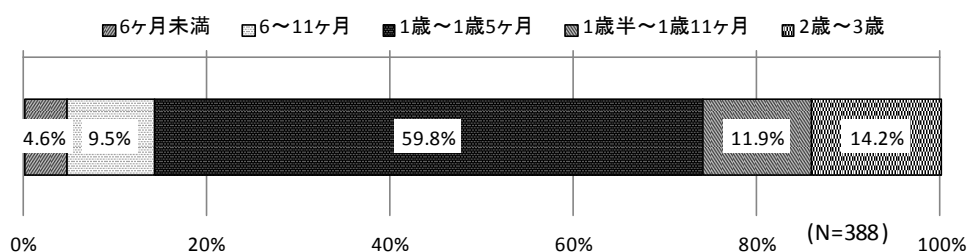
問 24-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

● 母親

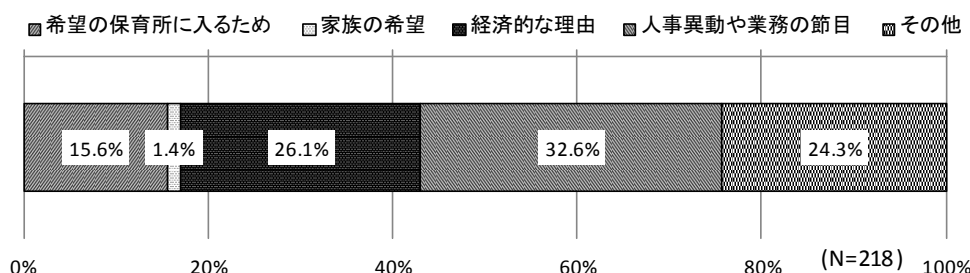
＜実際の復帰時期＞



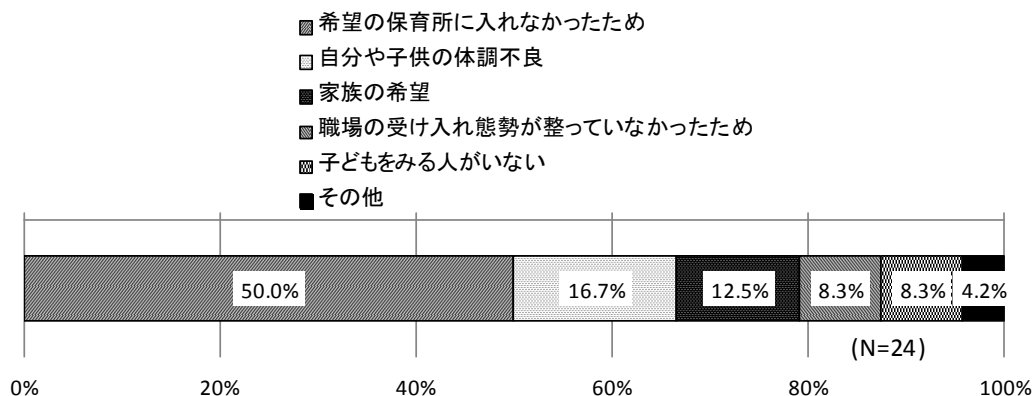
＜希望の復帰時期＞



＜希望より早く復帰した理由＞



＜希望より遅く復帰した理由＞

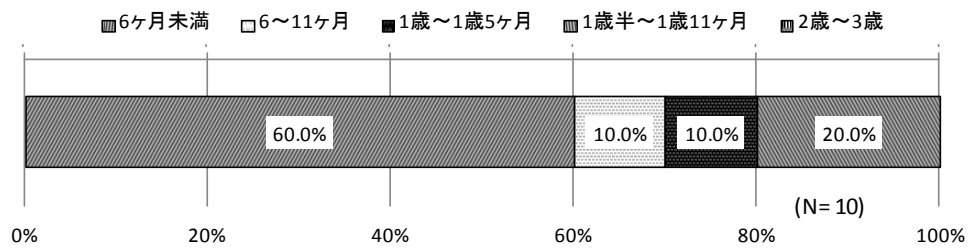


➤ 母親が育児休業から希望より早く復帰した理由は、「人事異動や業務の節目」32.6%、「経済的な理由」26.1%、「希望の保育所に入るため」15.6%。

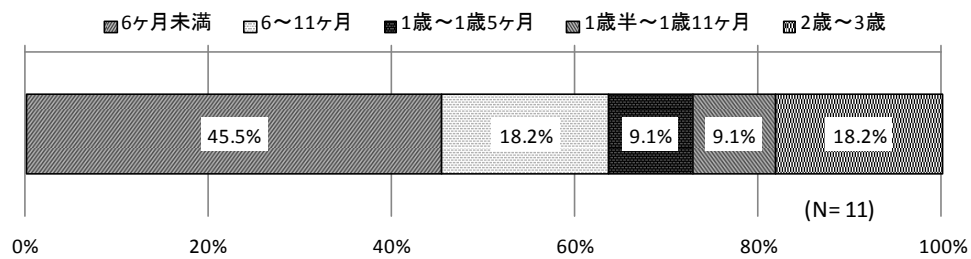
➤ 母親が育児休業から希望より遅く復帰した理由は、「希望の保育所に入れなかったため」50.0%、「自分や子どもの体調不良」16.7%。

● 父親

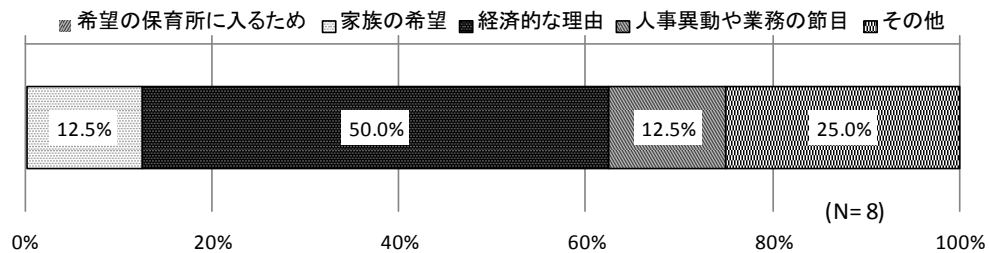
＜実際の復帰時期＞



＜希望の復帰時期＞



＜希望より早く復帰した理由＞



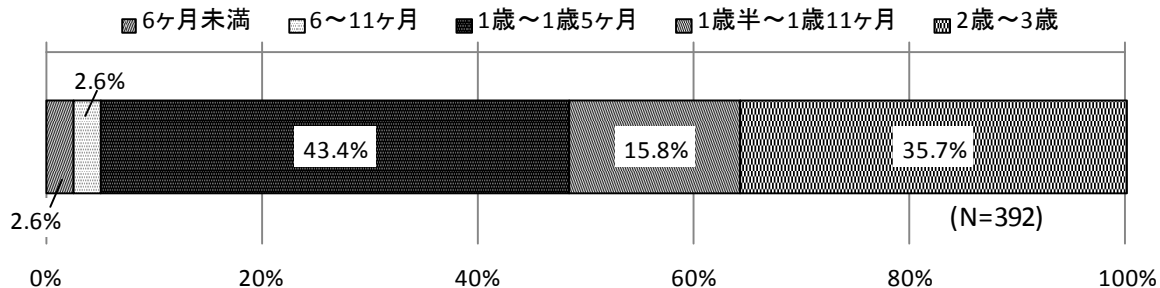
＜希望より遅く復帰した理由＞

回答者なし

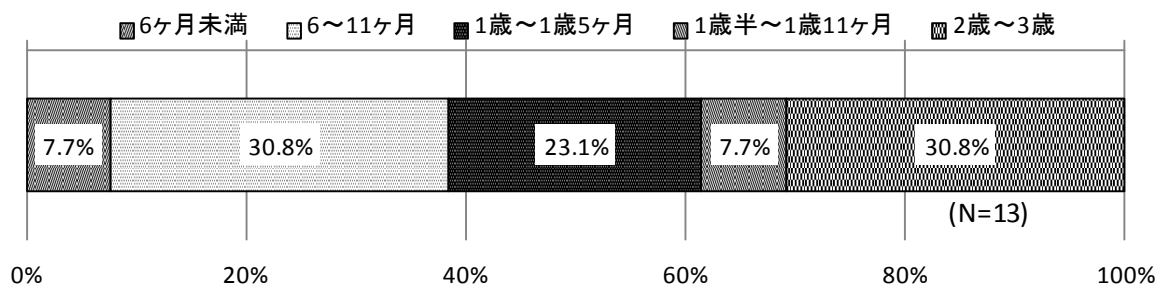
問 24-2 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方におたずねします。

問 24-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

● 母親



● 父親

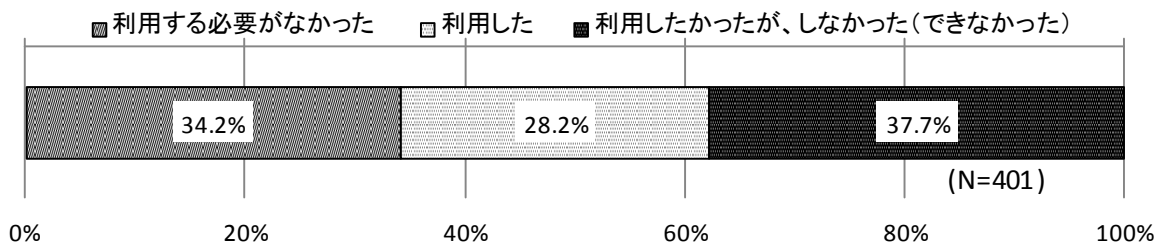


➤ 「育児休業取得後、職場に復帰した」人のうち、職場に制度があれば2歳～3歳まで育児休暇をとりたいと思うのは母親で35.7%、父親で30.8%。

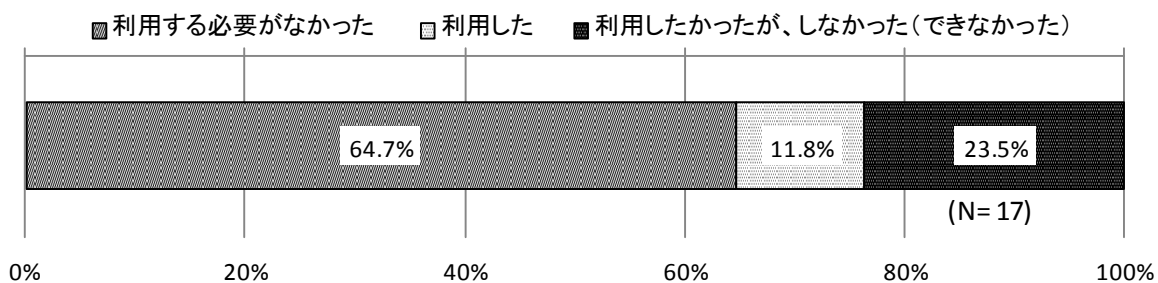
問 24-2 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方におたずねします。

問 24-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

● 母親



● 父親

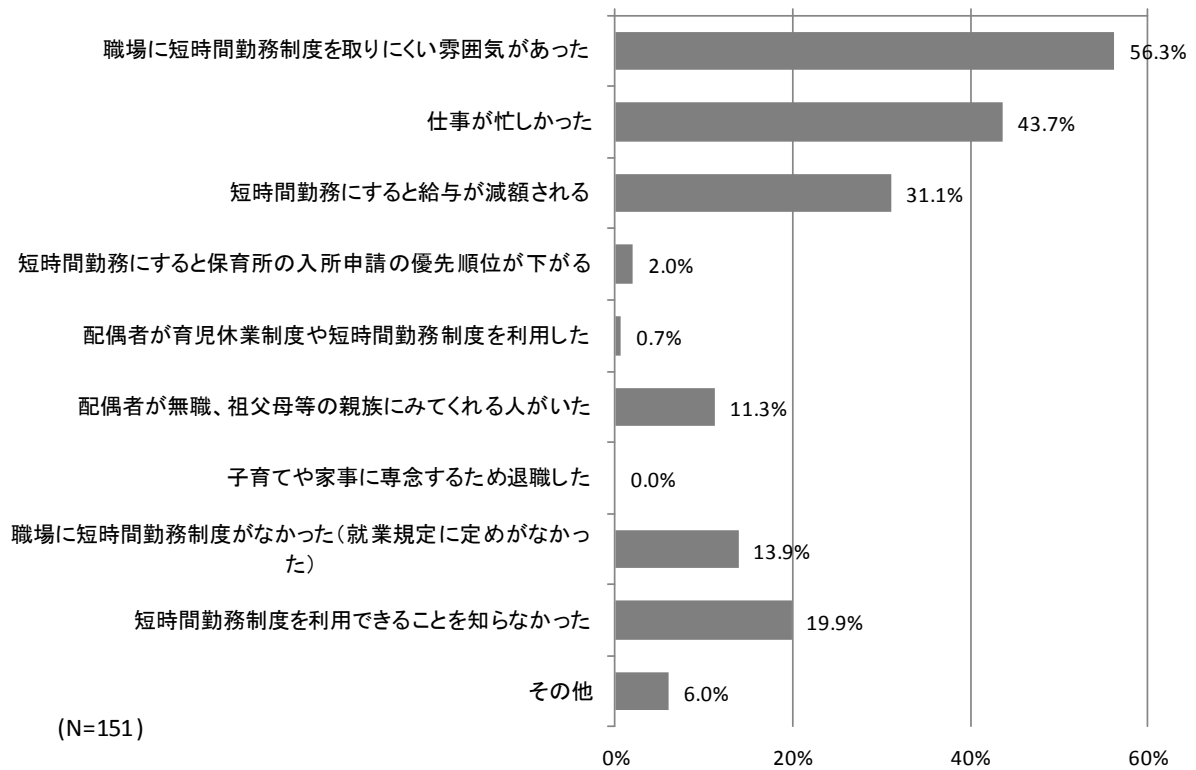


➤ 「育児休業取得後、職場に復帰した」人のうち、「短時間勤務制度」を利用した人は母親 28.2%、父親 11.8%。

問 24-6 で「利用したかったがしなかった（利用できなかった）」と回答した方におたずねします。

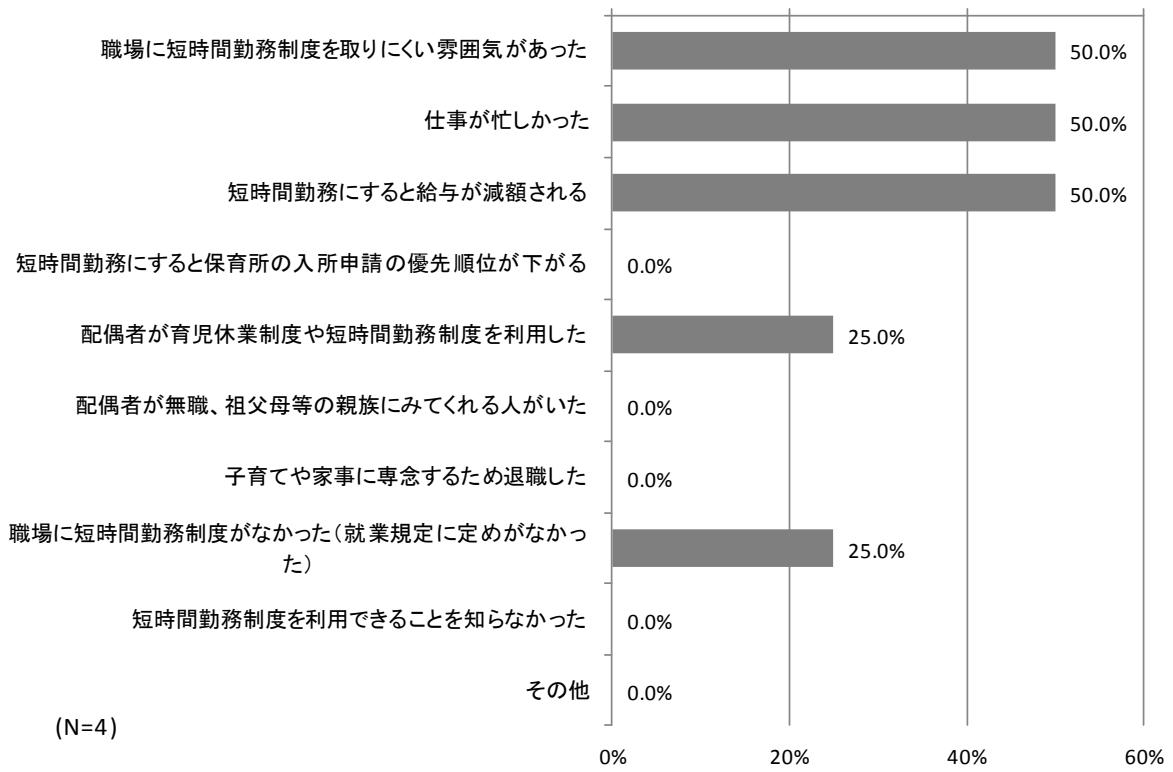
問 24-7 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。（複数回答可）

● 母親



- 短時間勤務制度を利用しなかった理由は、母親で「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」56.3%、「仕事が忙しかった」43.7%、「短時間勤務にすると給与が減額される」31.1%。

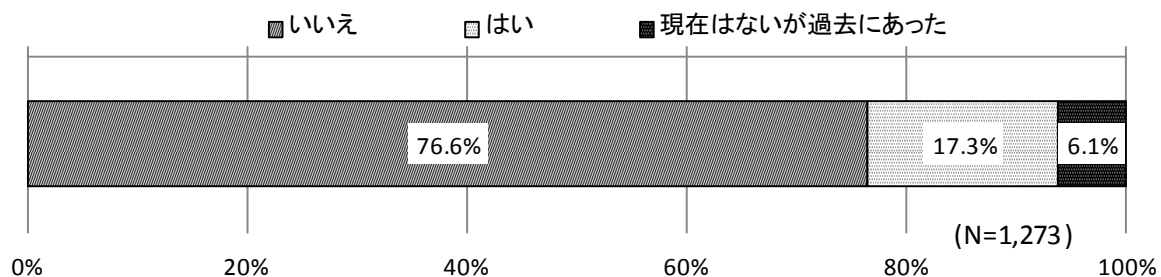
● 父親



10. 子どもの発達

あて名のお子さんの発達についておたずねします。

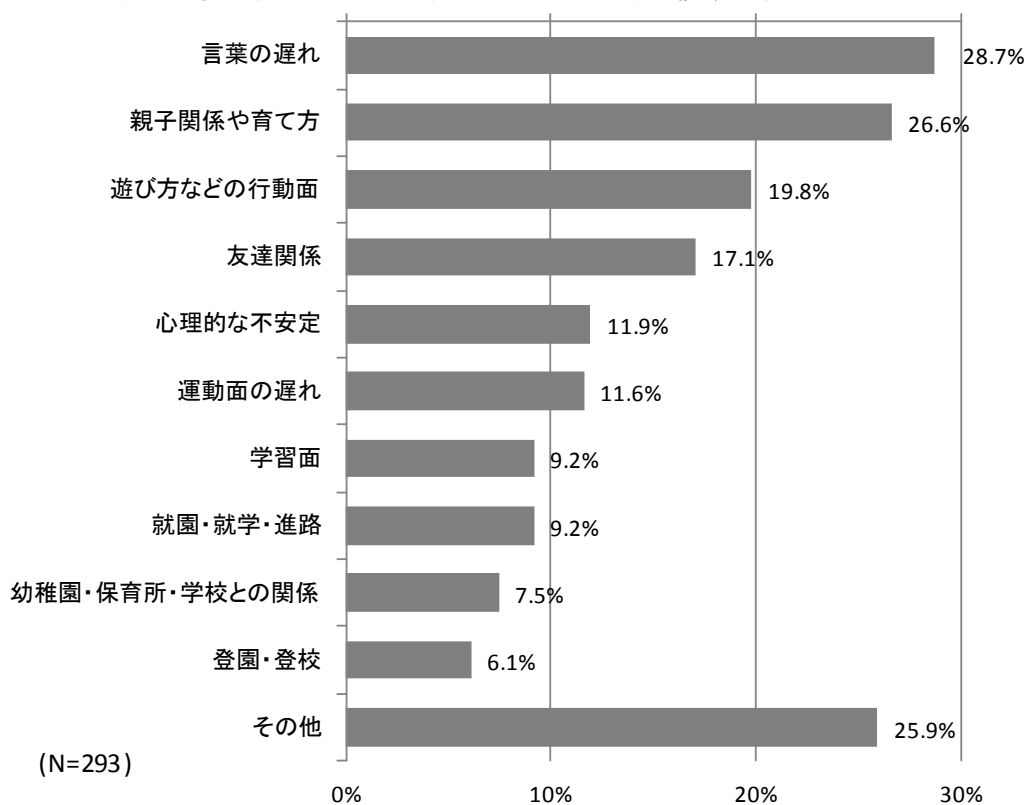
問 25 あなたは、あて名のお子さんの発達について悩みや心配なことがありますか（例：「集中できずじっとしてられない」、「言葉の遅れ」、「友達をつくるのが苦手」など）。



▶ 子どもの発達について悩みや心配なことがあった人は、過去も含めて 23.4%。

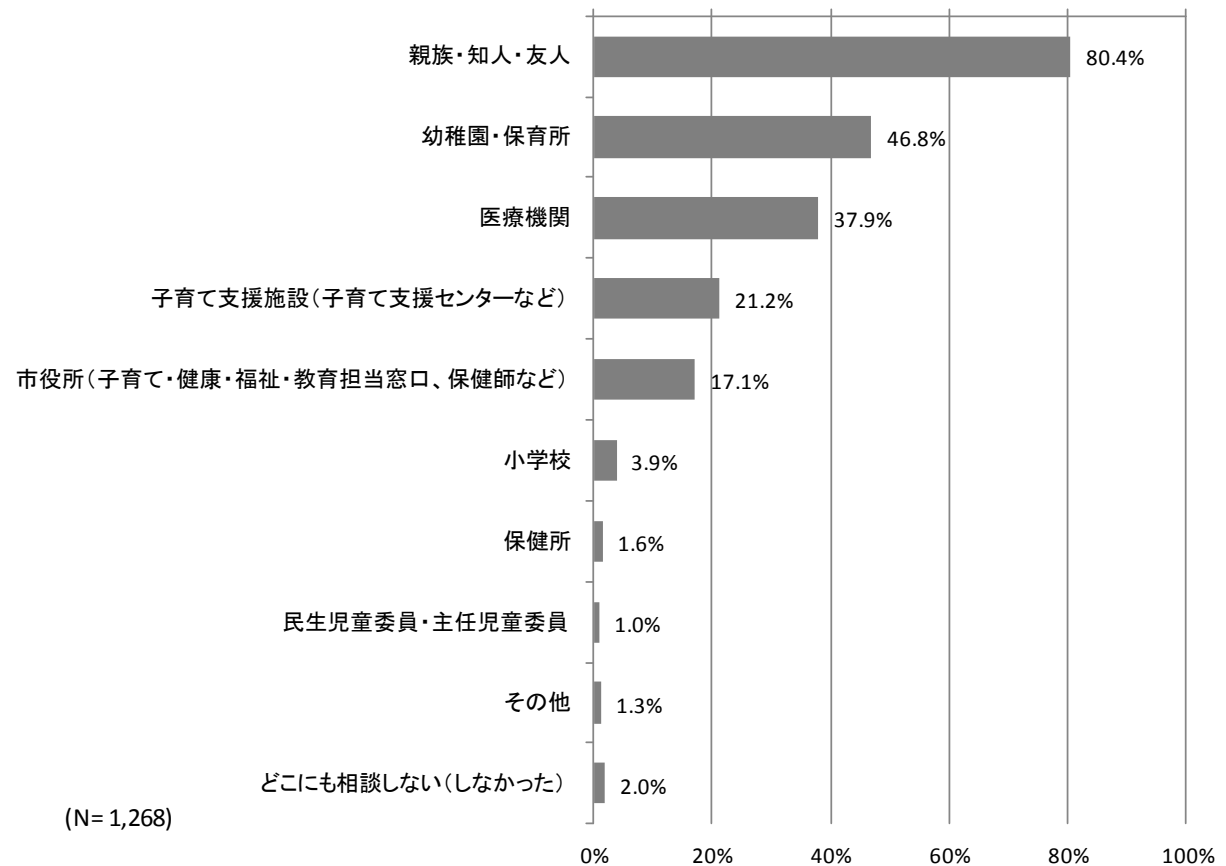
問 25 で「発達について悩みや心配なことがある」「過去にあった」と回答した方におたずねします。

問 25-1 どのような内容の悩みや心配ですか（でしたか）。（複数回答可）



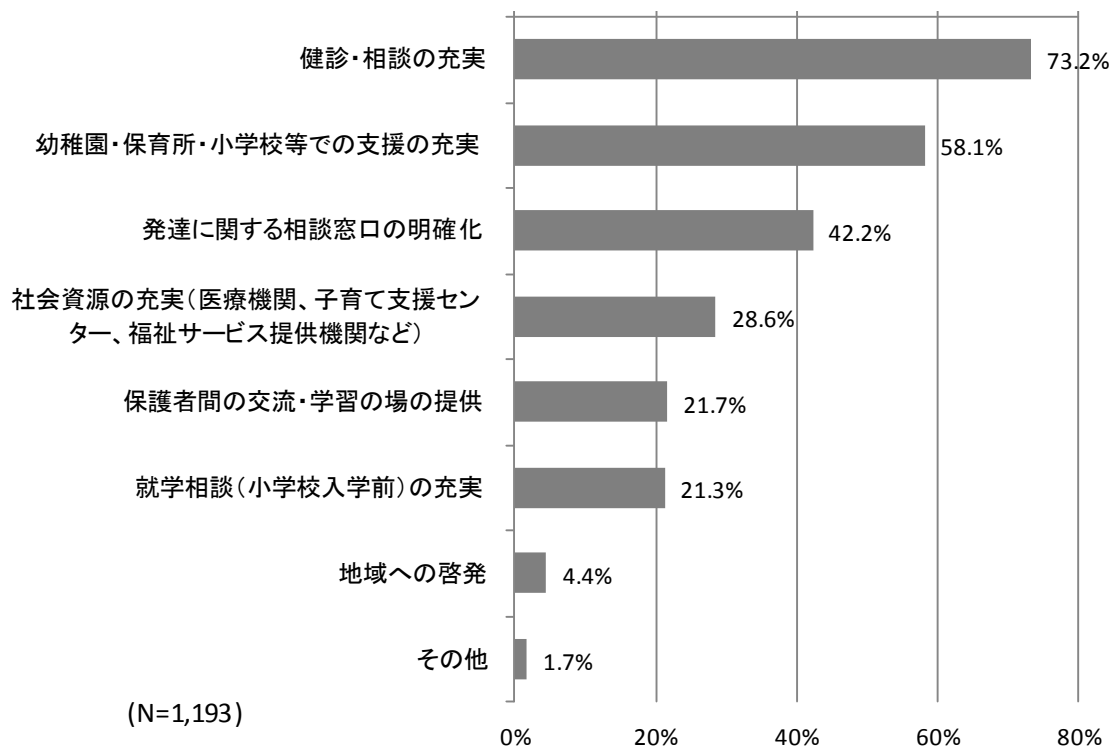
- ▶ 子どもの発達について悩みや心配なことがあった場合の内容は、「言葉の遅れ」28.7%、「親子関係や育て方」26.6%、「遊び方などの行動面」19.8%。

問 26 お子さんの発達について悩みや心配なことがある場合、あなたはどこに相談しますか（しましたか）。（複数回答可）



- 子どもの発達について悩みや心配なことがある場合の相談先は、「親族・知人・友人」80.4%、「幼稚園・保育所」46.8%、「医療機関」37.9%。

問 27 お子さんの発達を早期から支援していくために、どのようなことが必要だと思いますか。
(主なものを3つ回答)

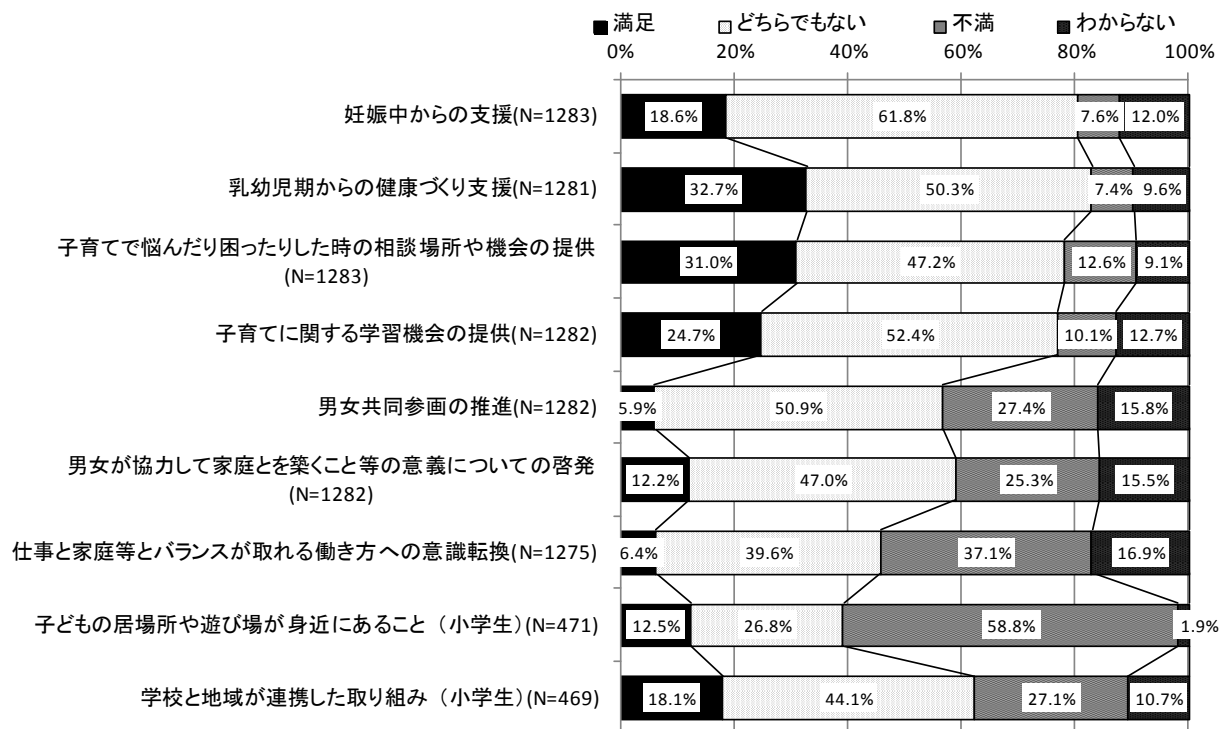


- ▶ 子どもの発達を早期から支援していくために必要なことは、「健診・相談の充実」73.2%、「幼稚園・保育所・小学校等での支援の充実」58.1%、「発達に関する相談窓口の明確化」42.2%。

1.1. 子育てに関する満足度と重要度

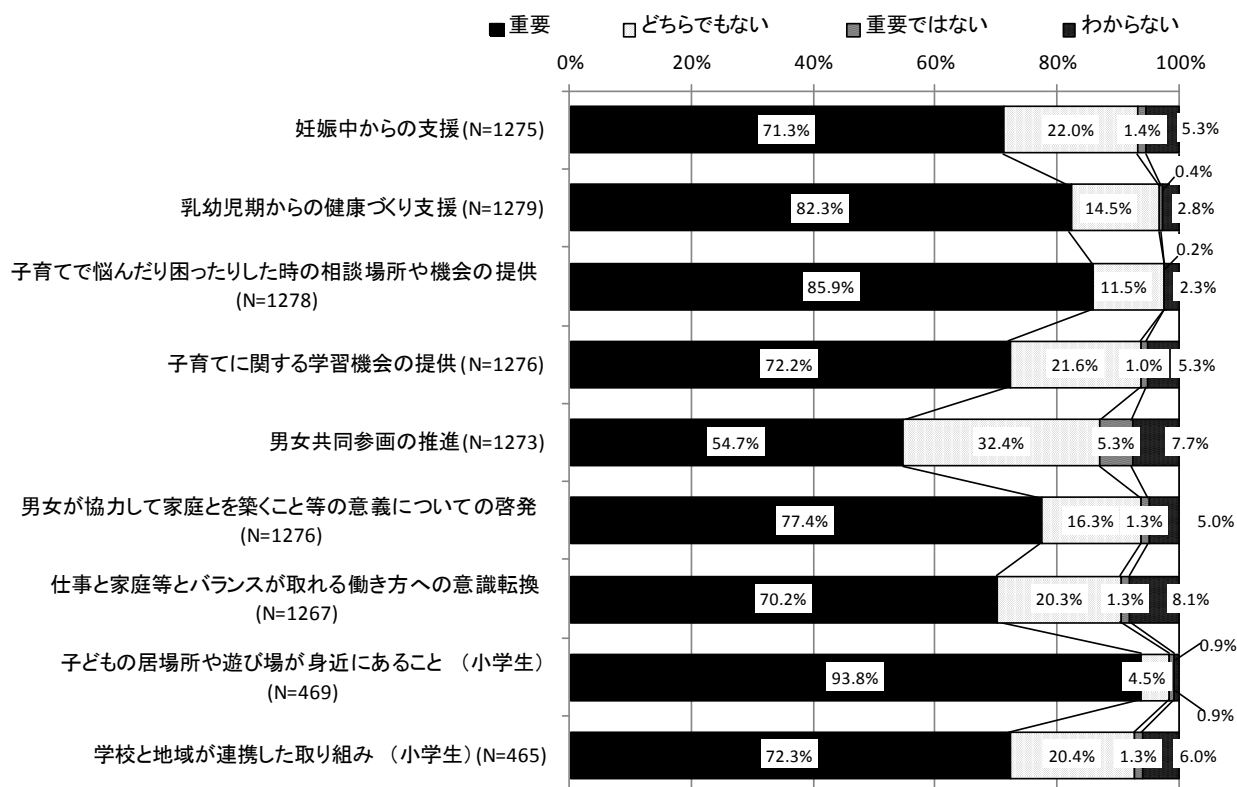
子育ての環境や支援への満足度と重要度についておたずねします。

● 満足度



- ▶ 満足度については、「乳幼児期からの健康づくり支援」の満足が32.7%、「子育てで悩んだり困ったりした時の相談場所や機会の提供」の満足が31.0%。「子どもの居場所や遊び場が身近にあること(小学生)」の不満が58.8%、「仕事と家庭等とバランスが取れる働き方への意識転換」の不満が37.1%。

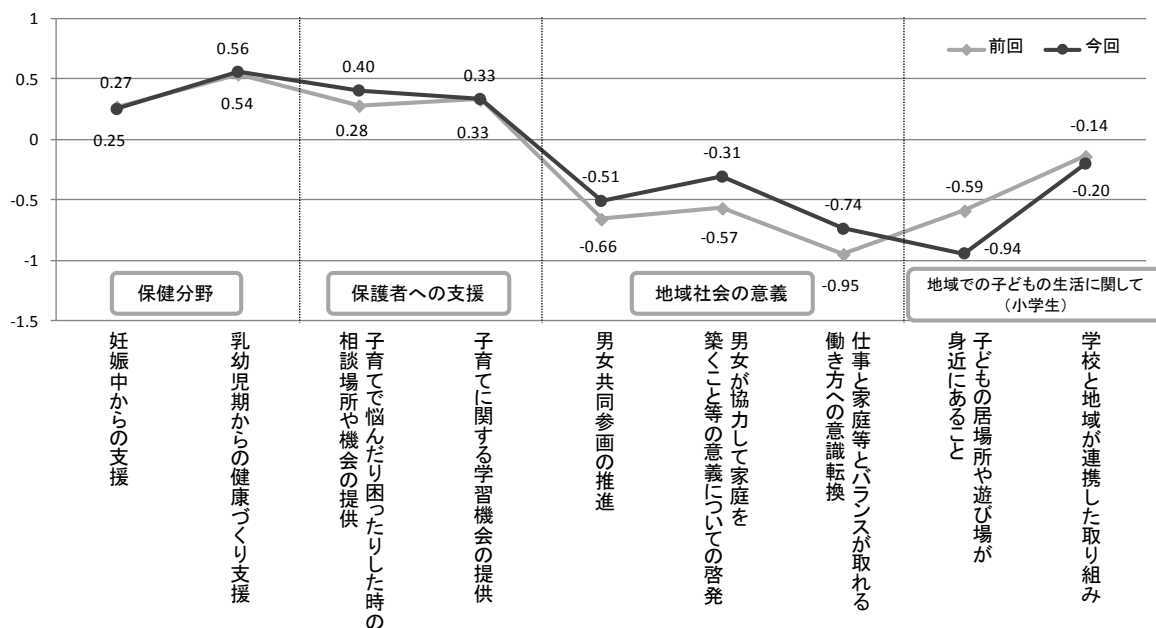
● 重要度



➤ 重要度については、「子どもの居場所や遊び場が身近にあること (小学生)」93.8%、「子育てで悩んだり困ったりした時の相談できる場所や機会の提供」85.9%。

【評価点】

● 満足度



評価点：評価に「満足」2点、「どちらでもない」0点、「不満」-2点の評価点を与えその平均点を算出

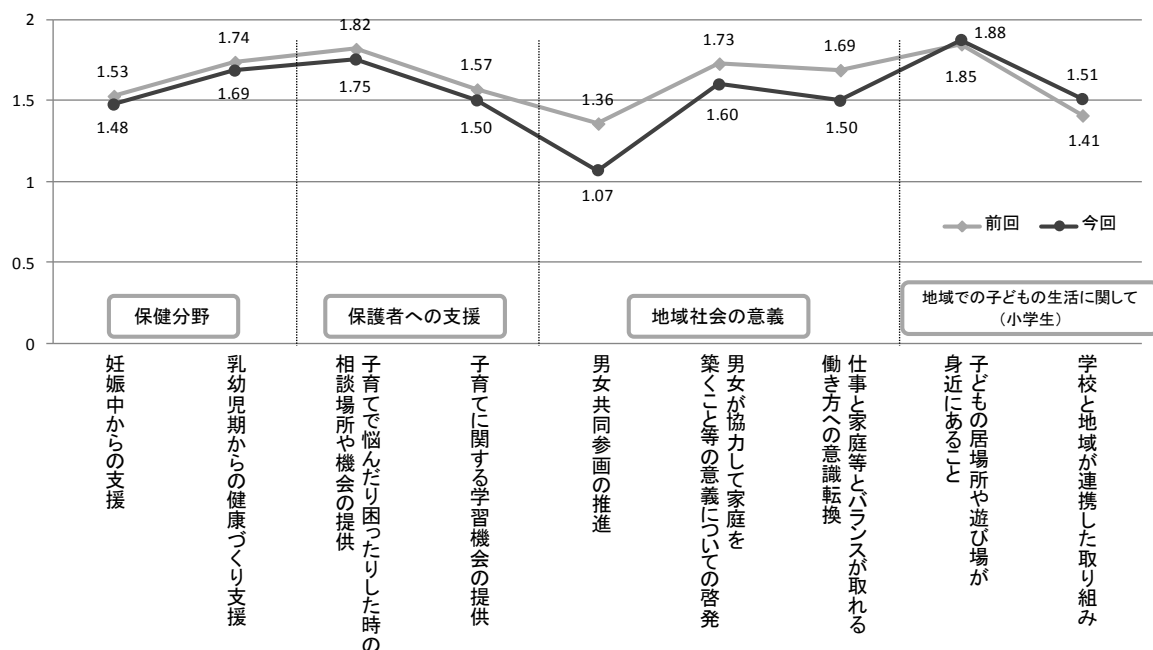
前回：平成20年度の調査（子どもの居場所や遊び場が身近にあること、学校と地域が連携した取り組みについては就学児童調査結果参照）

今回：子どもの居場所や遊び場が身近にあること、学校と地域が連携した取り組みについては小学生のきょうだいがいる世帯を対象

	H25回答者数	H20回答者数
妊娠中からの支援	1129	820
乳幼児期からの健康づくり支援	1158	864
子育てで悩んだり困ったりした時の相談場所や機会の提供	1166	827
子育てに関する学習機会の提供	1119	747
男女共同参画の推進	1079	716
男女が協力して家庭とを築くこと等の意義についての啓発	1083	763
仕事と家庭等とバランスが取れる働き方への意識転換	1059	730
子どもの居場所や遊び場が身近にあること (小学生)	462	531
学校と地域が連携した取り組み (小学生)	419	443

- ▶ 前回調査に比べ、「保護者への支援」と「地域社会の意義」の項目でポイントが上昇、一方「地域での子どもの生活に関して（小学生）」の項目はポイントが低下。

● 重要度



評価点: 評価に「満足」2点、「どちらでもない」0点、「不満」-2点の評価点を与えその平均点を算出

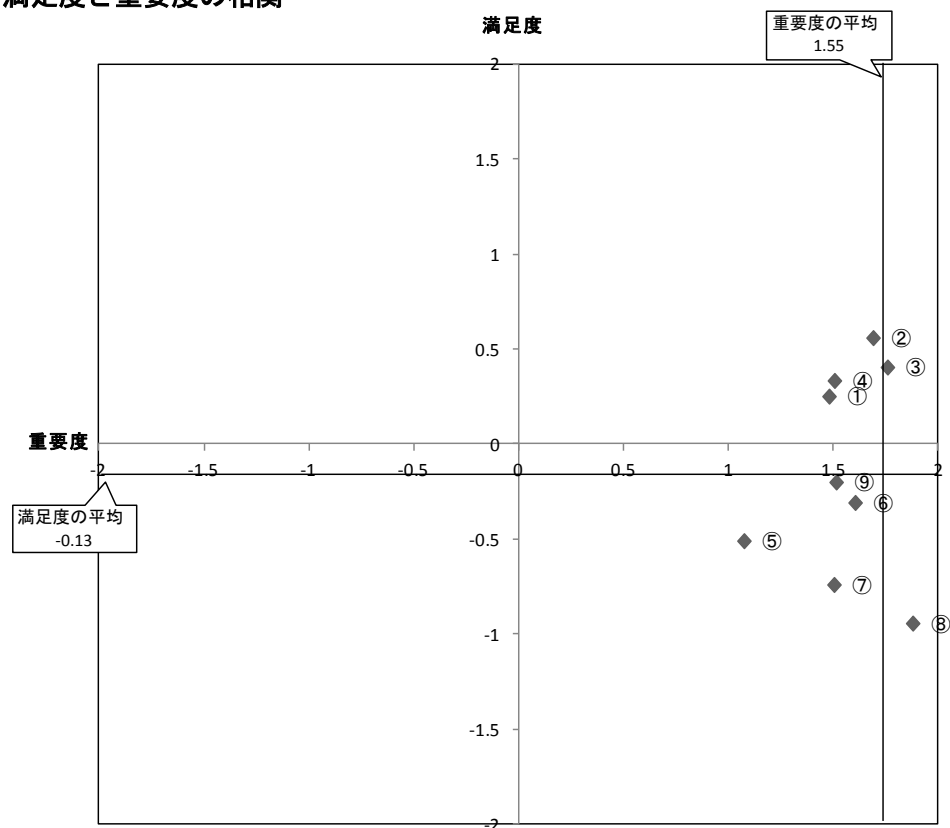
前回: 平成20年度の調査(子どもの居場所や遊び場が身近にあること、学校と地域が連携した取り組みについては就学児童調査結果参照)

今回: 子どもの居場所や遊び場が身近にあること、学校と地域が連携した取り組みについては小学生のきょうだいがいる世帯を対象

	H25回答者数	H20回答者数
妊娠中からの支援	1207	897
乳幼児期からの健康づくり支援	1243	941
子育てで悩んだり困ったりした時の相談場所や機会の提供	1248	951
子育てに関する学習機会の提供	1209	882
男女共同参画の推進	1175	884
男女が協力して家庭とを築くこと等の意義についての啓発	1212	911
仕事と家庭等とバランスが取れる働き方への意識転換	1164	885
子どもの居場所や遊び場が身近にあること (小学生)	465	555
学校と地域が連携した取り組み (小学生)	437	521

- ▶ 前回調査に比べ、「地域での子どもの生活に関して (小学生)」の項目でポイントが上昇、その他の項目はポイントが低下。

● 満足度と重要度の相関



- ① 妊娠中からの支援【維持】
- ② 乳幼児期からの健康づくり支援【維持】
- ③ 子育てで悩んだり困ったりした時の相談場所や機会の提供【重点維持】
- ④ 子育てに関する学習機会の提供【維持】
- ⑤ 男女共同参画の推進【注意】
- ⑥ 男女が協力して家庭を築くこと等の意義についての啓発【注意】
- ⑦ 仕事と家庭等とバランスが取れる働き方への意識転換【注意】
- ⑧ 子どもの居場所や遊び場が身近にあること（小学生）【重要改善】
- ⑨ 学校と地域が連携した取り組み（小学生）【注意】

※維 持：「満足度が平均以上」かつ「重要度が平均未満」
 重点維持：「満足度が平均以上」かつ「重要度が平均以上」
 注 意：「満足度が平均未満」かつ「重要度が平均未満」
 重要改善：「満足度が平均未満」かつ「重要度が平均以上」

➤ 満足度と重要度の相関をみると、「⑧子どもの居場所や遊び場が身近にあること（小学生）」の項目が、満足度が低く重要度が高い位置に分布しており、重要改善項目となる。

12. 自由意見

自由意見

